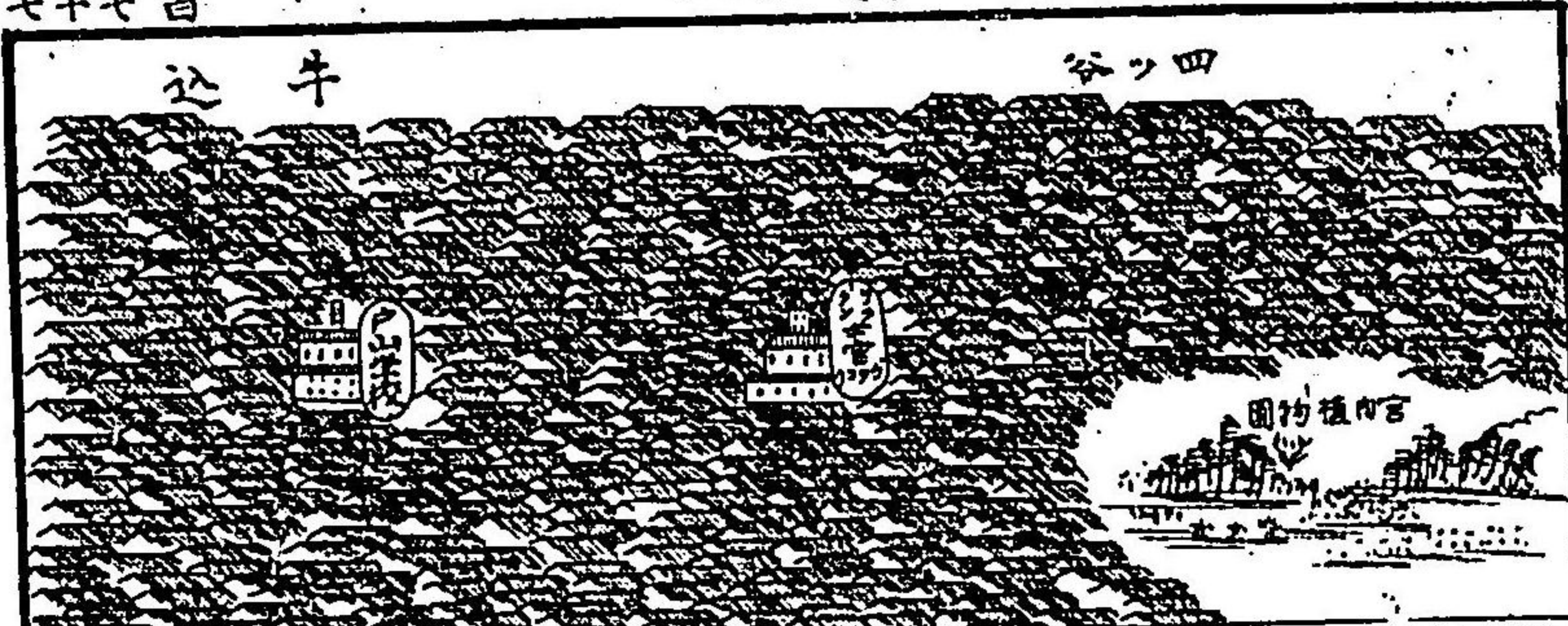




憲法發布式の圖

菊々桐の御紋を刺
み付て壯美を極め
り

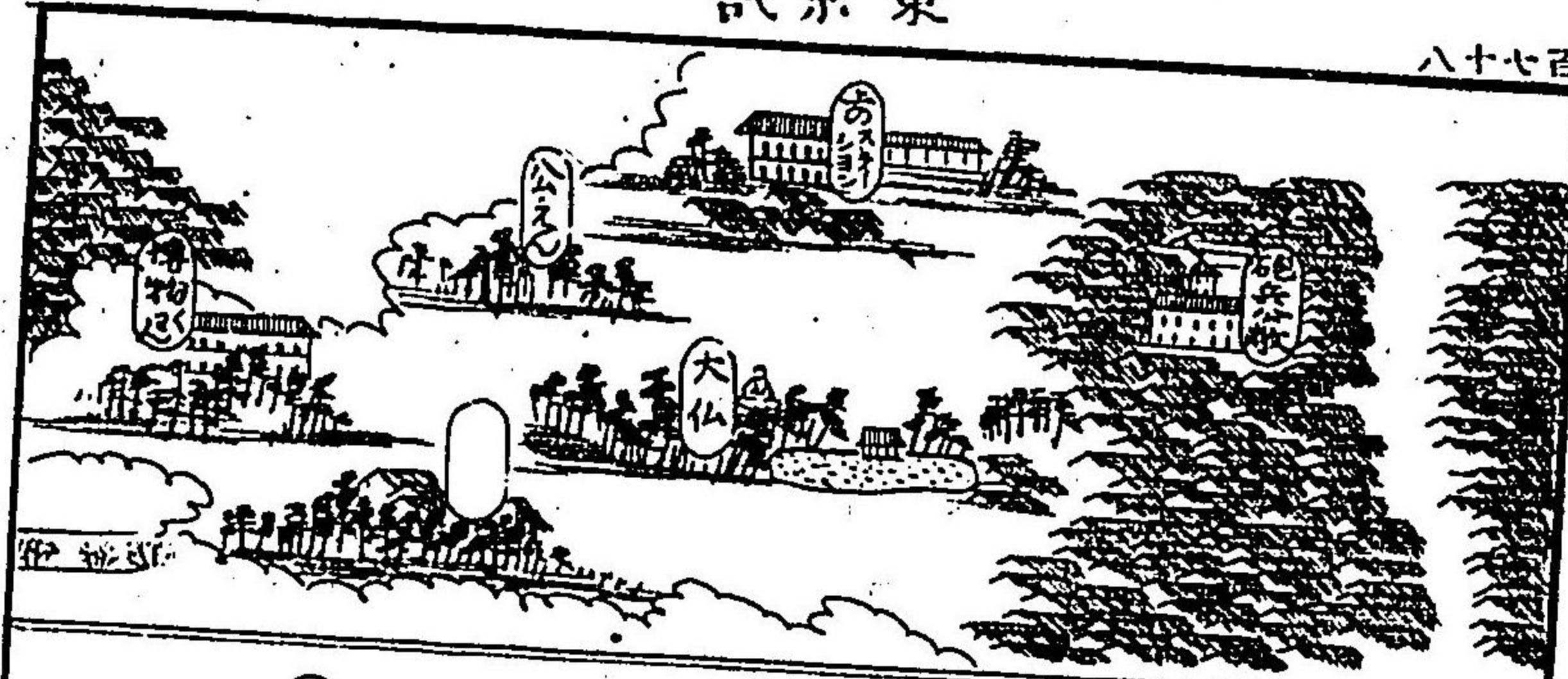
○日吉神社 永田
町山王山上あり
都下第一の大社
て國常立尊比叡山
の二宮三宮を祀る
樹木鬱蒼として池
塘の區々あり又
櫻樹あり春は觀花
ふ夏は納涼の佳し
麹町平川町小太田



道灌の勸請の平川天満宮小菅公自画の御影あり

○靖國神社 宮城の東北九段坂の上あり報國盡忠王事殉
死せし諸士を祀る明治二年之を創建す燈明の高直立百尺天
然石を以て造る其外石燈五十基許り賽路と挟んで並列す巨銅
の華表や青銅の紀念碑は刀劍狀を造り爲し人目を驚かす許り
あり社地には梅櫻松柏と雜栽し紅緑いと麗美か四時の花絶る
時假山の飛瀑と垂れ池塘の噴水を設け社殿壯麗且つ都下の
百万戸と一眸の下に増集せむ春秋の例祭は競馬相撲烟花等あり
當日賽人雲霞の如く集ひ來る其の盛況は充塞し遠く一難し

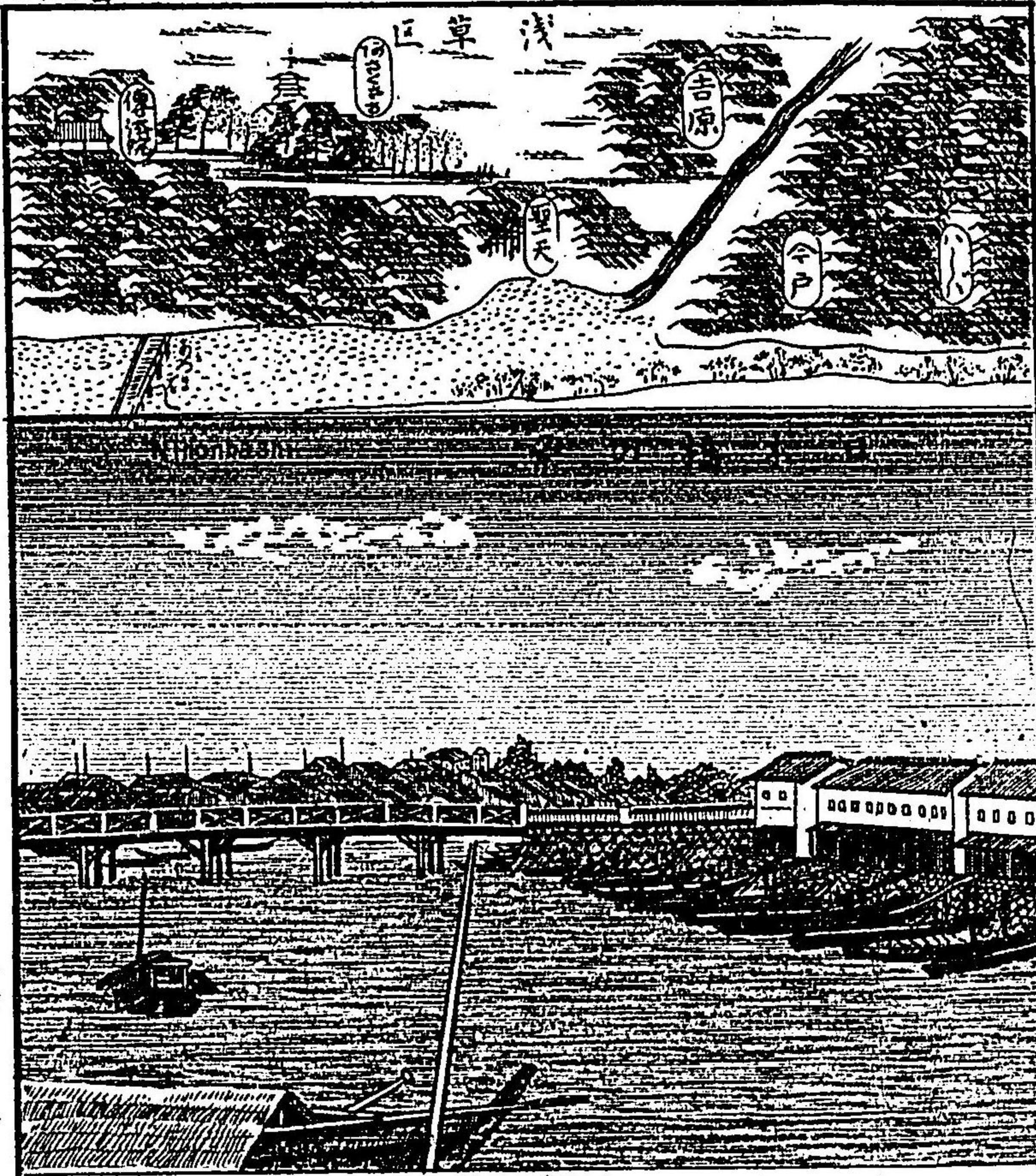
○遊就館 靖國神社の境内に在り毎年四五の両月は毎週日水
の二曜日の外土曜日臨時開館し軍器と展覽せしむ日本落時
の弓矢銃砲の兵器より豊太閤の唐冠や徳川家康の軍配扇それ
のみの泰西諸國の兵器と教多陳列しあり



○日本橋 府の中央から通一丁目と宝町の間を架る橋上は平坦な人道車馬道が分割し人行路馬車道の絶間あり諸方への行程を許るは此橋を元標とす

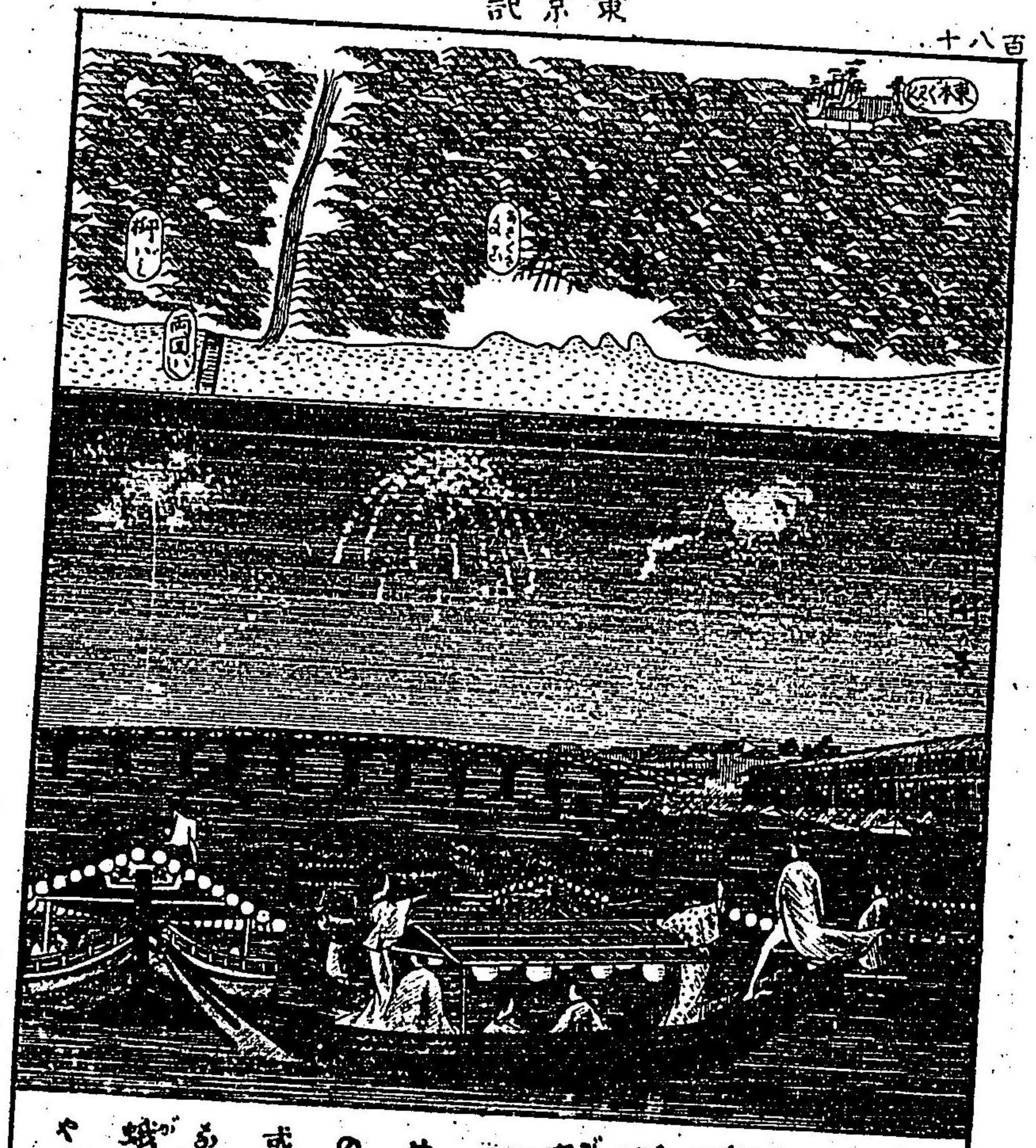
○通 日本橋通と通称し本町大傳馬町横山町は中心就て有名なる繁華の地にて家屋は皆土蔵造りか一鉄道馬車や人力車や琴帯馬車は表々と響き渡り行人常小雑る如く且つ商戦場の中心とも謂つべし橋の北岸を單小魚岸と通称し諸國の漁船あり小聚りて朝市いと賑まり三井銀行は駿河町小三井呉服店も此町に在り明治七年十二月新築し一日の賣高平均一萬圓餘あり其對岸に郵便電信局本局や四日市郵船會社の倉庫あり

○水天宮 補公社 羽越町に水天宮ありて安徳天皇を祀り矢倉小楠公社あり明治七年の造營して補正成を首め児島高德中山侍從忠光卿や錦小路御小武田耕雲齋頼三樹藤水鐵石其他勤王

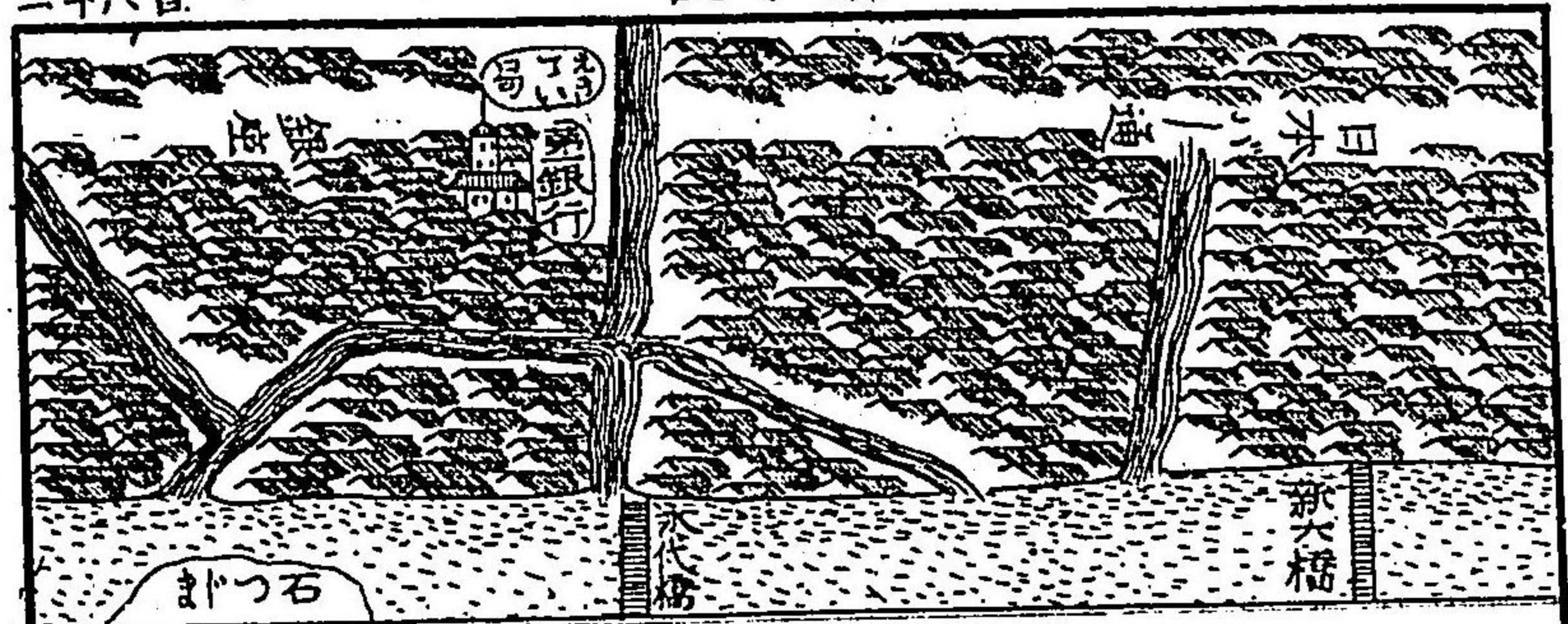


の諸士を合祀す亦小茅場町に齋師如來あり

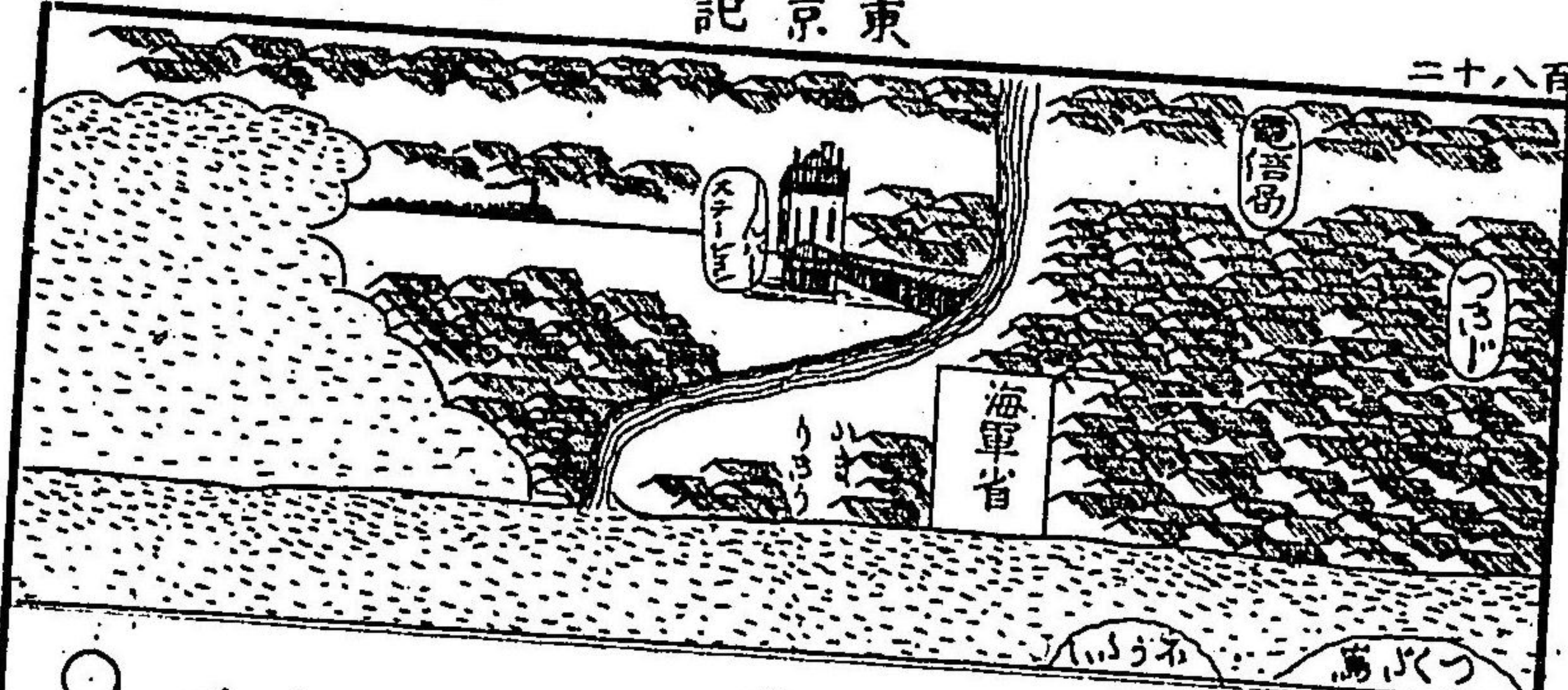
○兩國橋 隅田川の下流吉川町と本郷區の本町に架る長さ九十有六間船便の地殊に古昔より納涼の名高く例年七月に至れば川開とて煙火の興あり余輩偶々之小遊ぶ兩岸の高樓



は河の臨みて建築
 一水造の揚床を架
 け満江は枋窓の叙
 光を閃の一多少の
 燈彩と競ふ炮聲
 爽然と響くや半空
 萬點の星斗を留
 め或は碎けて千萬
 の銀屑金片とあり
 或は千丈の蛟龍と
 あり或は一輪の蟻
 蛾と懸げ拍手の音
 や喝采の聲天地も



震動するものと疑われ貴族紳商や田夫野郎の分ちなく集い来る
 兩國納涼 關 雪江
 酒香燈影半川浮 橋上遊人橋下船 花礫一聲人叫賞
 今宵烟火是開頭
 ○柳橋 浅草橋と兩國橋の間の溝渠に架る橋畔に歌妓の家多
 く蘭麝の薫り最濃のあり亦船宿多
 柳橋夏夕 植村蘆洲
 渡橋人趁晚涼微 蝙蝠時穿晚柳飛 出浴吳娃妝楚楚
 削桐輕履縮綿衣
 ○永代橋 箱崎町より深川の架る元禄十一年始めて永代島の
 架け明治七年鐵橋に改めぬ此處は船舶輻輳の要津にして帆檣
 常の林の如く立ち東南は蒼海に瀕して房総の翠巒斜め開け
 筑波の碧嶂は墨水に臨みて翠巒より芙蓉の白峯は宮城の西

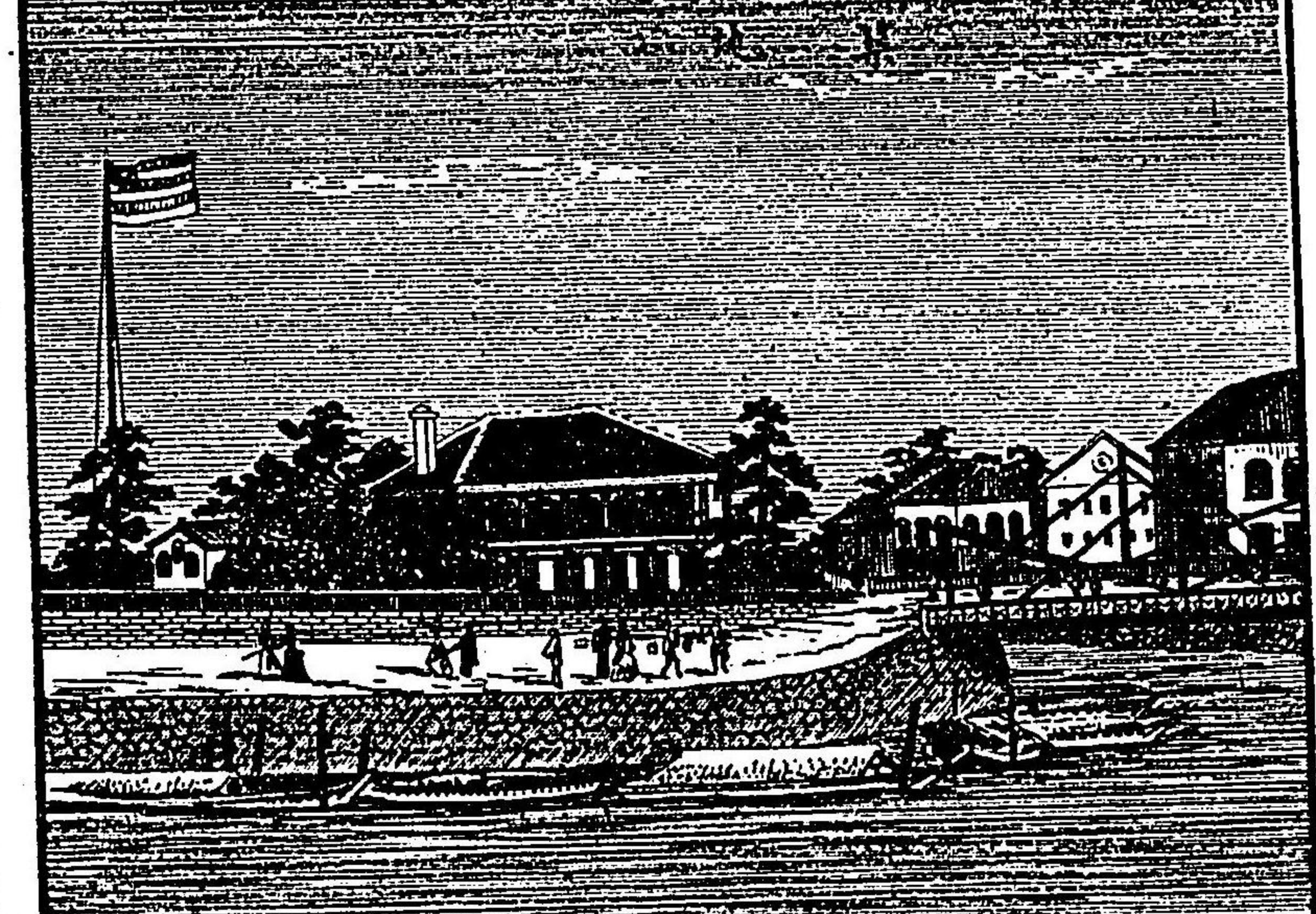
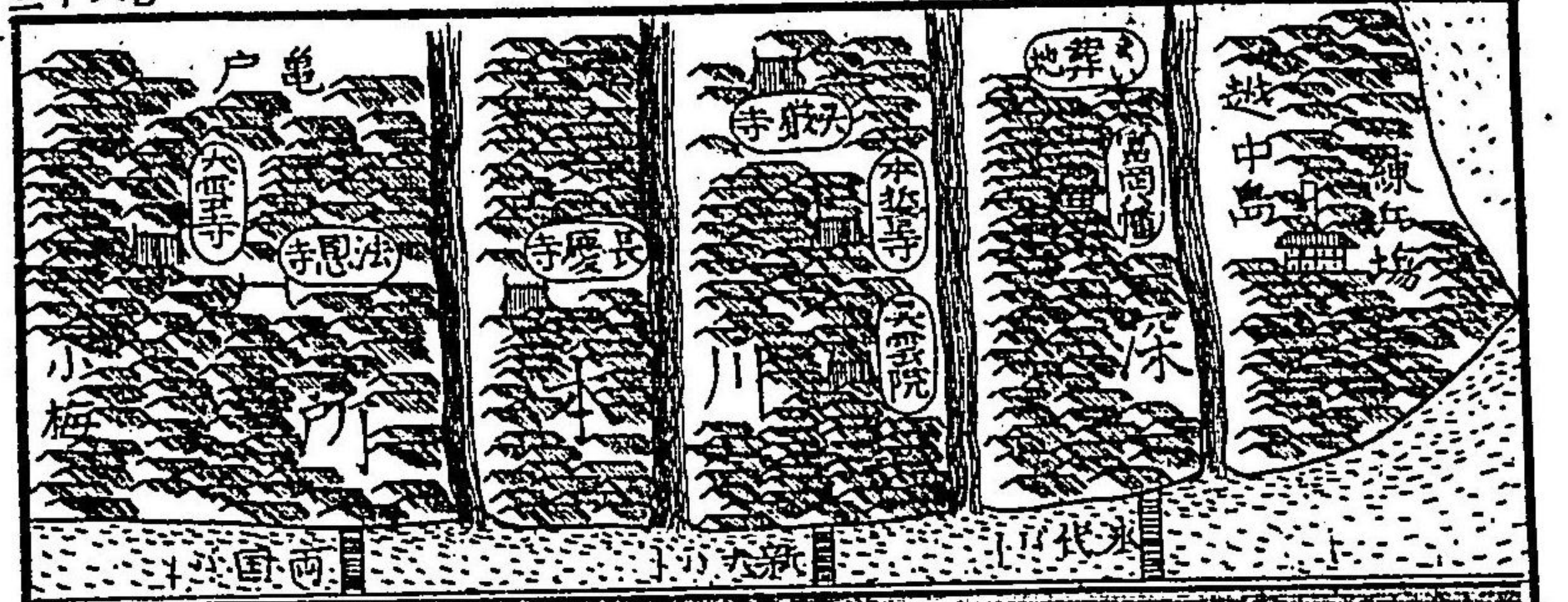


時ち古嶺金龍の寶樹は千枝万葉の間、隠見一て風景描く如
 一又、新大橋と兩國橋との間の濱町、加藤清正祠あり、靈巖島
 は最と名高し

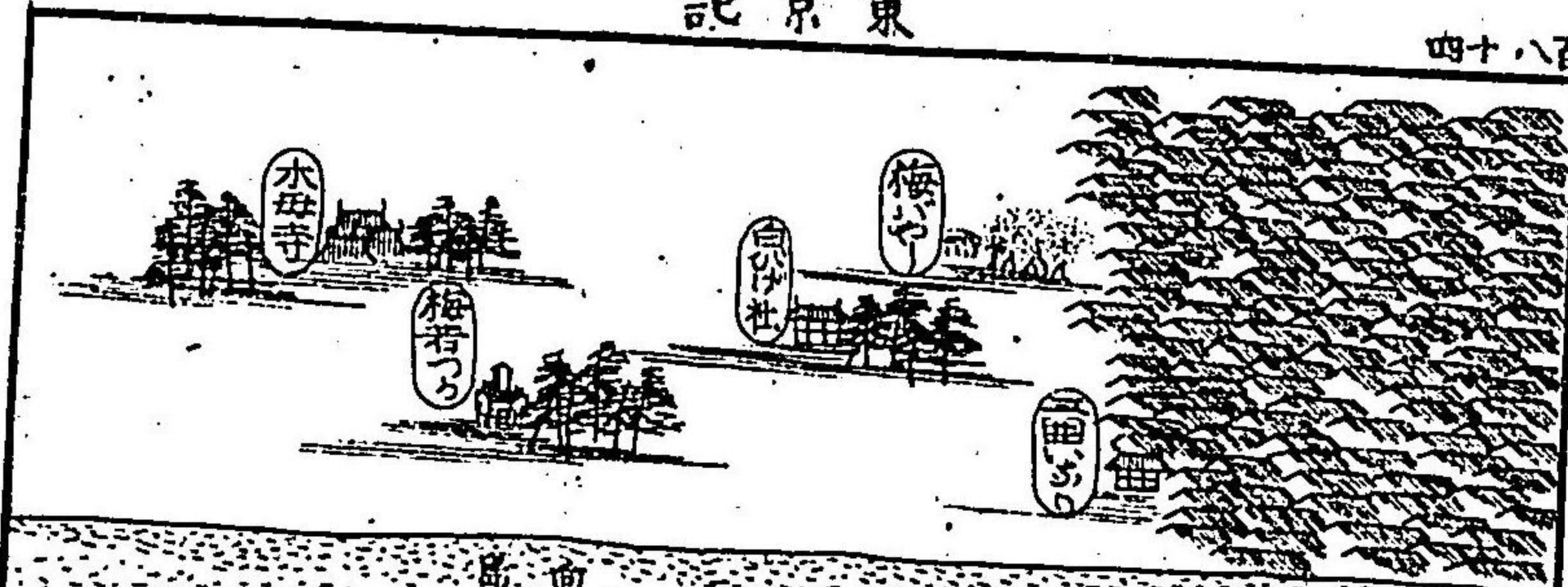
○守田座劇場 新富町に在り、明治五年、猿蓑町より愛小移る、結
 構の宏壯美麗なる都下第一と称す、名優は團十郎、阪東家、橋や高
 島や、左團次、小團次等あり

○銀座 明治五年二月の災、罹りてより、京橋より新橋に至る
 間を改築し、人家隣次、構比し、石造、非ずんば、磚造あり、中央、柳
 櫻や、松楓を雜へ、裁へ、左右、小人道を設け、碑石を敷く、夜間は、電氣
 燈、燦々、と輝き、渡りて、白晝を欺る、人行路、馬車路、駁撃し、雜、運、繁華
 と極む、殊に、松田橋は、傑出、巨構の、建、築、都下第一の、酒樓あり、然れ
 ども、此橋、遊ぶものは、多く、下等社會とす

○築地 墨田の口唇、一帯、水と隔つ、往昔は、寂寥、



る、曠原ありし、概
 近海外諸國と交通
 を開き、街衢壯麗、
 外國人の居留地と
 あり、貿易頗ぶる繁
 昌せり、去りて、
 港内水浅く、大船と
 容るべからざる、
 改築の功を遂げば
 此地の利莫大あら
 ん、靈巖島、銀町、小築
 師堂、其又境内、小橋
 本稻荷あり、乗合馬



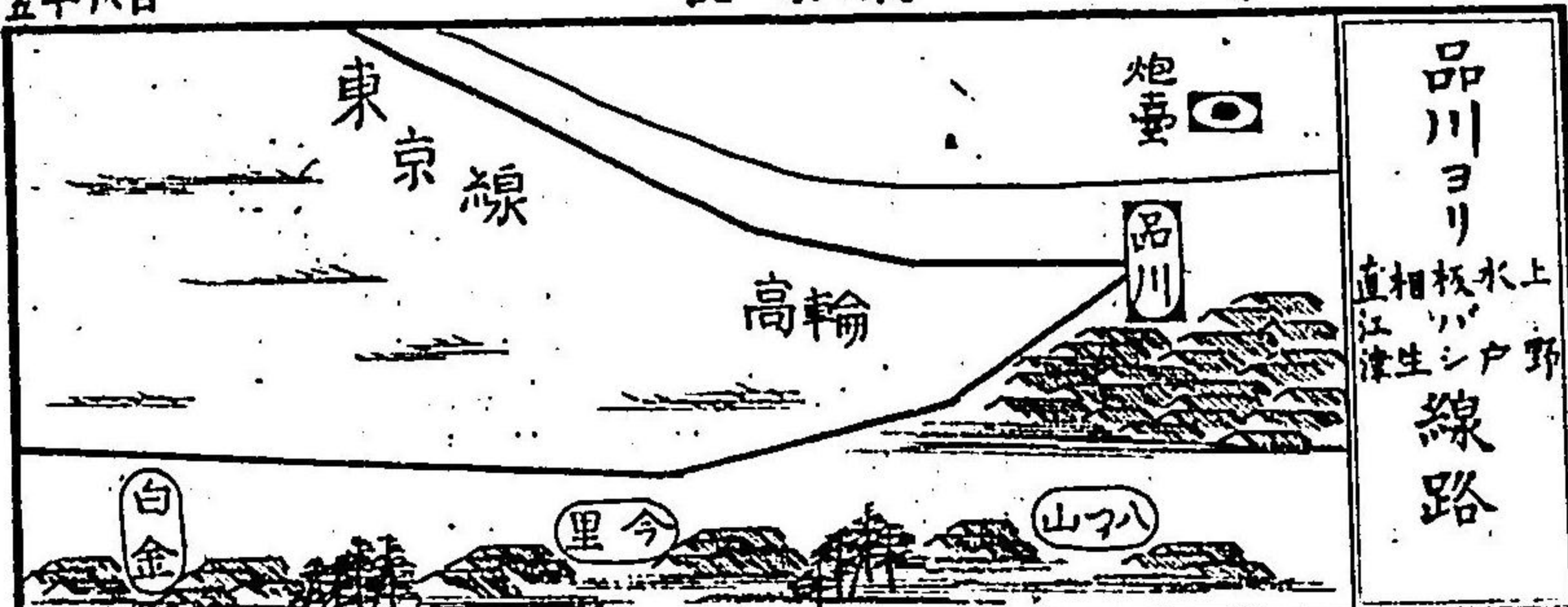
車の浅草や上野千住へ行くは新橋より客と乗す鐵砲洲は寛永の比の井上稻富の大筒を試みし所あり

○佃島 嶋中住吉神社まゝ白魚の名産あり

○石川島 一名鏡島と呼ぶ往昔源義家の鏡の故事あり近世造船所の設あり

○陽明寺 本尊觀音影像是惠心の作つて向井忠勝の開基とす海福寺の釋迦佛の本尊や九層の寶塔あり淨心寺は僧日養の開山平野町小採茶庵の舊蹟其他靈巖寺本誓寺一峰寺法禪寺靈光院靈雲院や五本松か芭蕉菴旧址は名高し

○洲崎辨天祠 海頭の時ち眺望佳景あり彌生の潮干かは蛤を拾ひ樽船と浮べて打興し冬は千鳥の名を得て都下の遊人競ひ來る明治廿一年根津の花街を此地に移し海小臨みて青樓と美麗の建築し絲竹の音も絶へず繁昌す越中島小大砲射撃場あり



品川ヨリ上野千住へ行くは新橋より客と乗す鐵砲洲は寛永の比の井上稻富の大筒を試みし所あり

○品川 品川御所跡あり

○高輪 高輪御所跡あり

○山手 山手御所跡あり

○里今 里今御所跡あり

○白金 白金御所跡あり

○回向院の弥陀佛座像の本尊あり兩國橋の南岸小中村榎あり彌勒寺の辨財天社は世か名高く五百羅漢堂は近世頽廢し河東第一の名刹も僅か其の跡を存するあるのみ

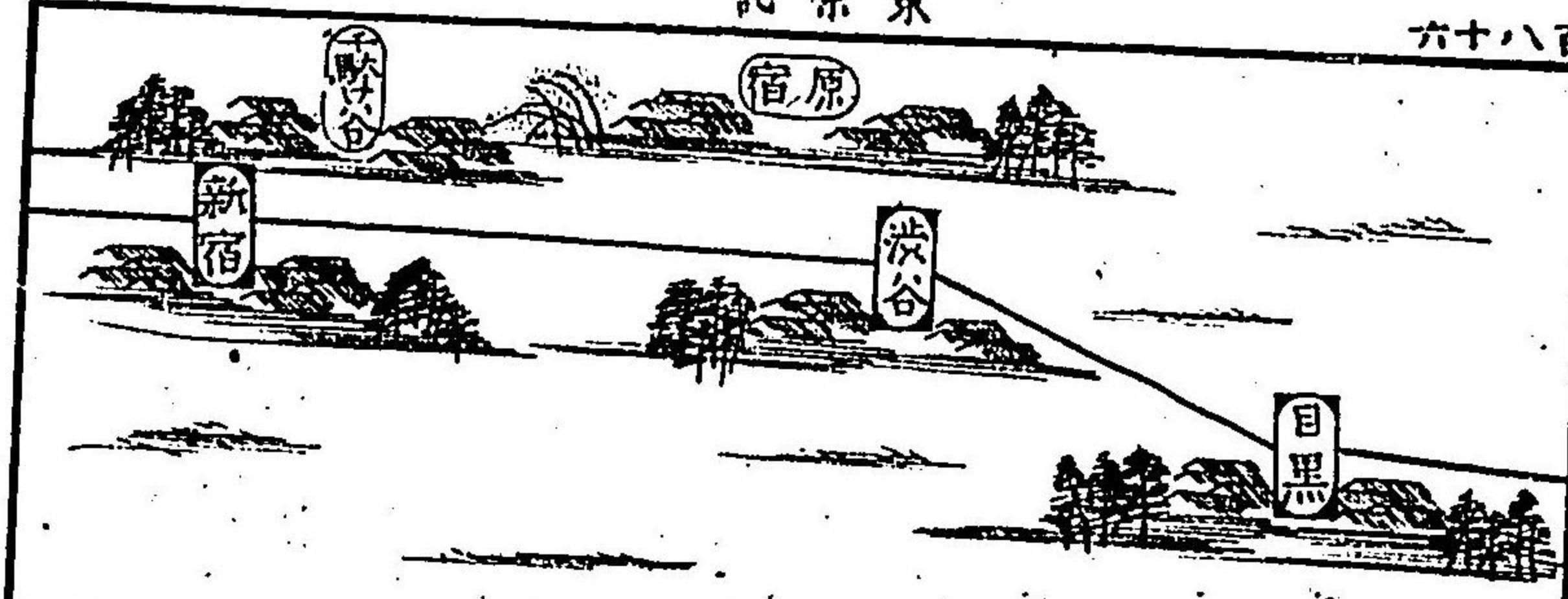
○龜井戸天神 僧信祐が筑前太宰府の天満宮を據移して創建せり境内の太鼓橋や藤棚は世か名高し

○臥龍梅 清香巷に在り世人之と梅屋敷と呼ぶ其花一品かて京舞臺白ふり薫香濃りか形ち龍の蟠るの如く幹は地小逸ひて甚し奇觀あり東仙翁の吟ふ

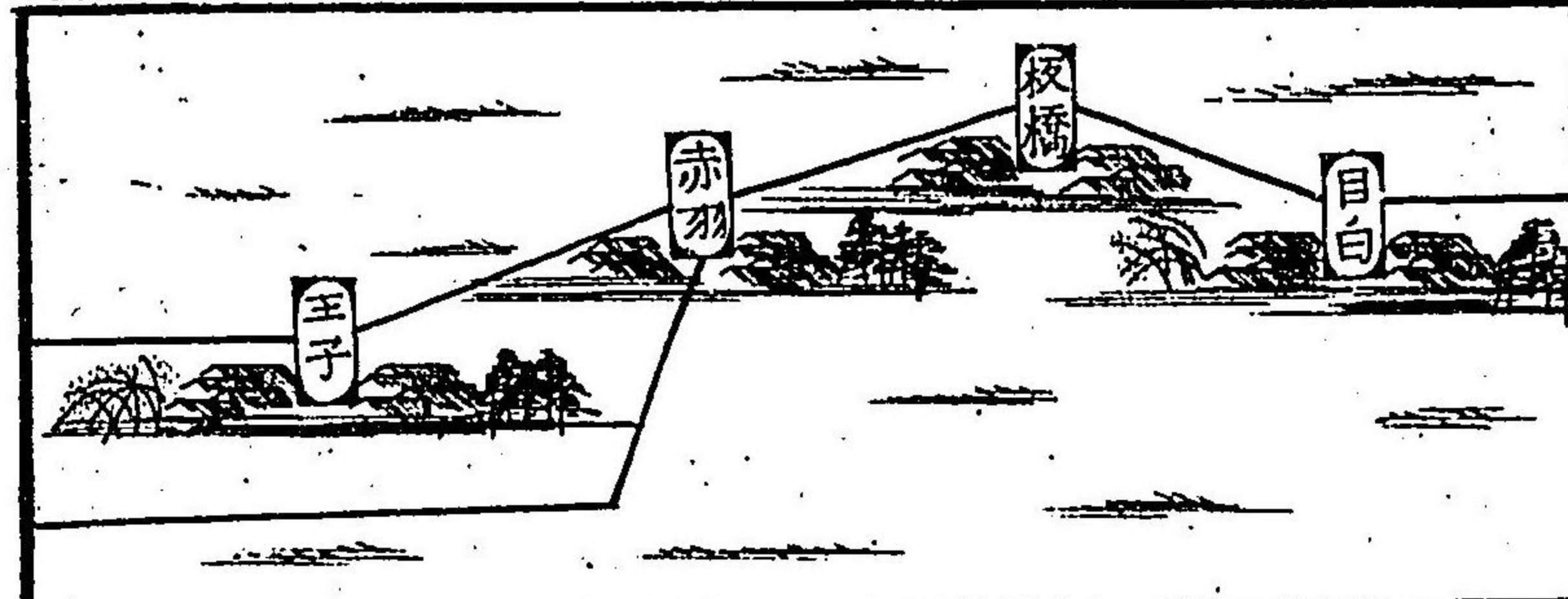
蛇の龍とはいはるるの盛りのな

神明宮 東覺寺 香取太神宮 寶蓮寺 常光寺 慈光院 吾嬭權現社 太子堂 柳嶋妙見堂 最教寺 大法寺 法恩寺 業平天神社 中郷八幡宮 多田齋師堂 本久寺 妙源寺 長命寺 弘福寺 等あり

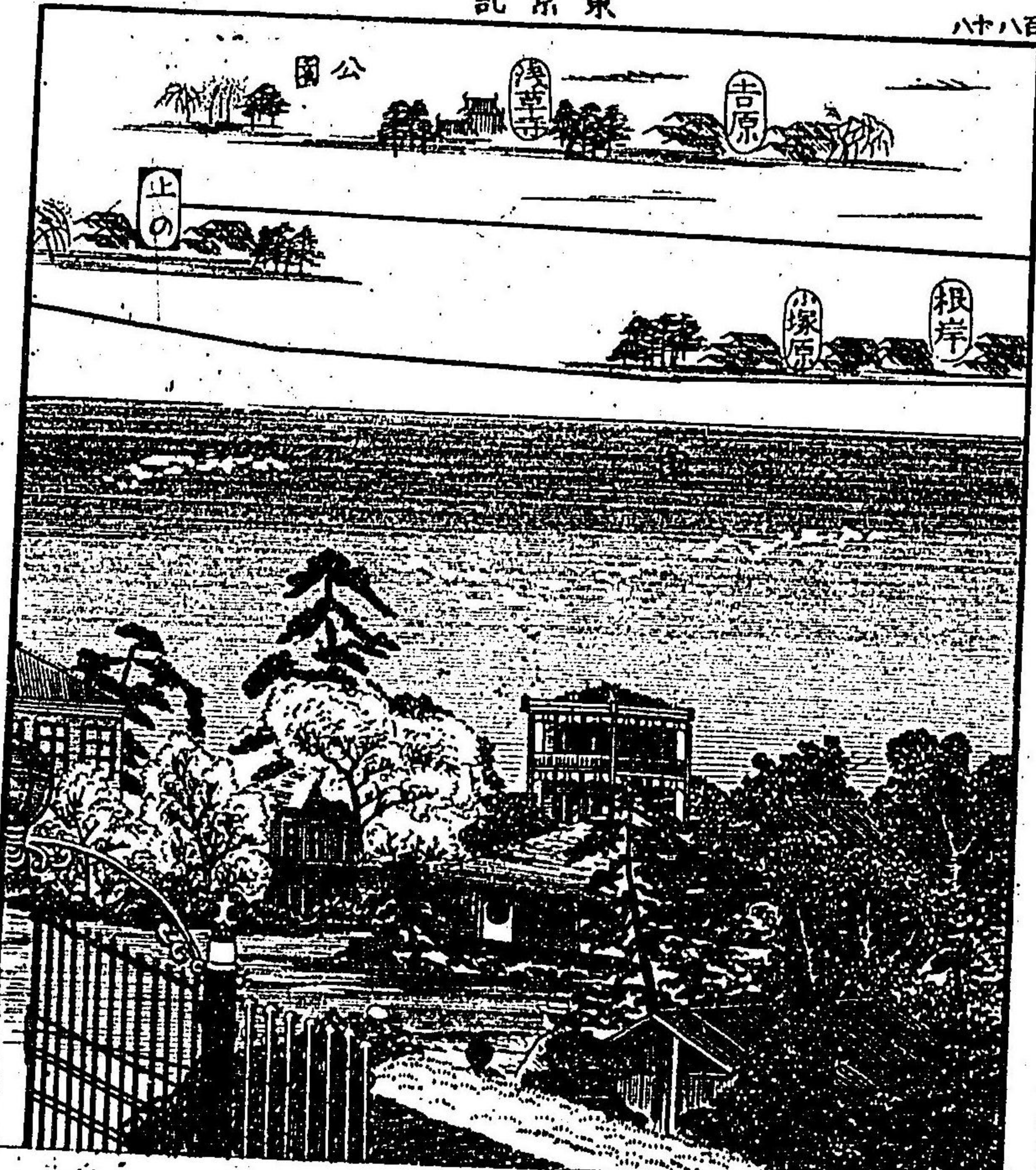
蓮華寺の阿彌陀佛と本尊と一太子堂は聖徳太子十六歳の像



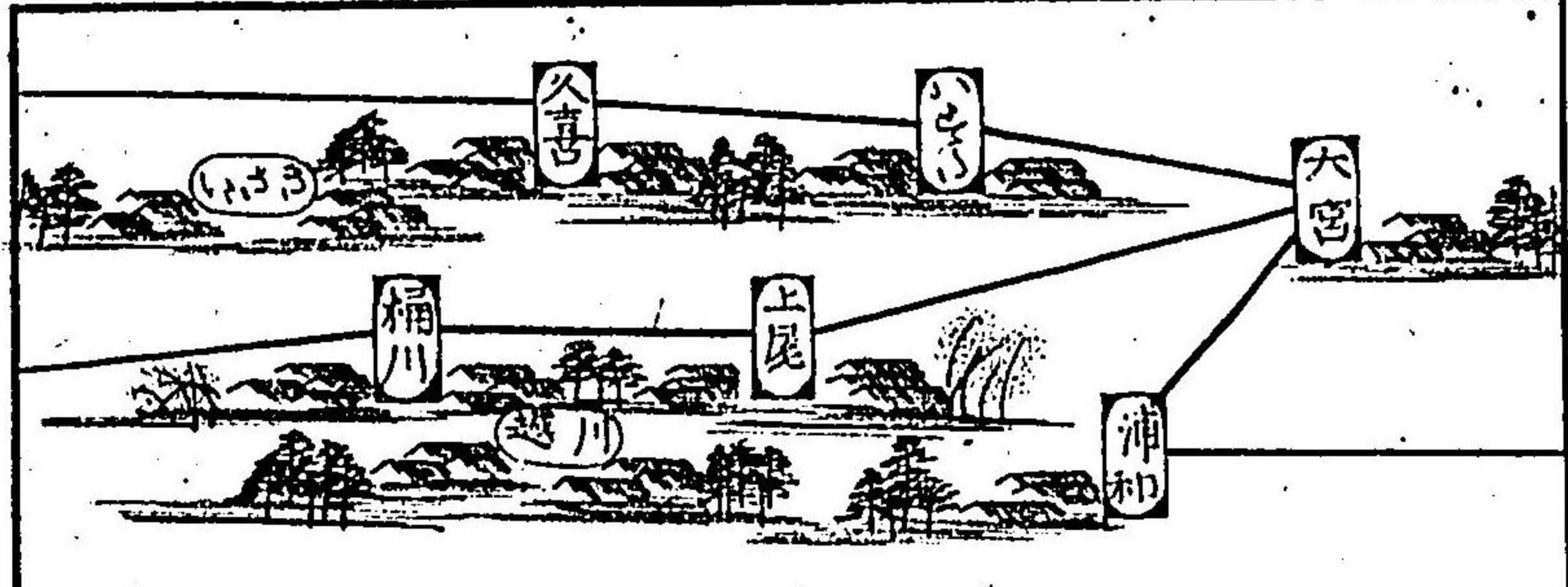
と安ず白髪明神の
 抜田彦命を祀る是
 より北行すれば堀
 切村の花菖蒲あり
 花候は紫白艶々
 小庵崎や鐘ヶ澤も
 程近く開屋の里は
 名所古歌多し紫
 又村の帝釋天あり
 江戸川が瀬一都下
 の人多く尊信す
 ○木母寺 寺は隅
 田堤に最も名高く



本尊五智佛阿彌陀の像は聖徳太子の作又境内に梅若の塚あり
 詳世 梅若
 尋ねて問はる答へは都鳥
 昔の河原のつもと消ぬと
 ○八洲園 木母寺と出で隅田堤を南へと進み橋場の渡口に到
 る茲に八洲園てふ佳亭あり園中四季の花卉を種々種々
 秋季七草の佳し又池と透らして水禽を放ち處處に北海松を
 散植す風景頗る佳なり
 ○三圃稲荷社 神像は僧空海の作義經櫻や其角の往昔雨乞の
 碑あり
 ○隅田堤 堤は水源熊谷に至り十有六里あり天正二年北條氏
 之と築く三圃造より木母寺の際まで幾千の櫻樹を栽り墨江の
 看花として其名世に高し花候は幾千の櫻花燦爛として艶を競ひ

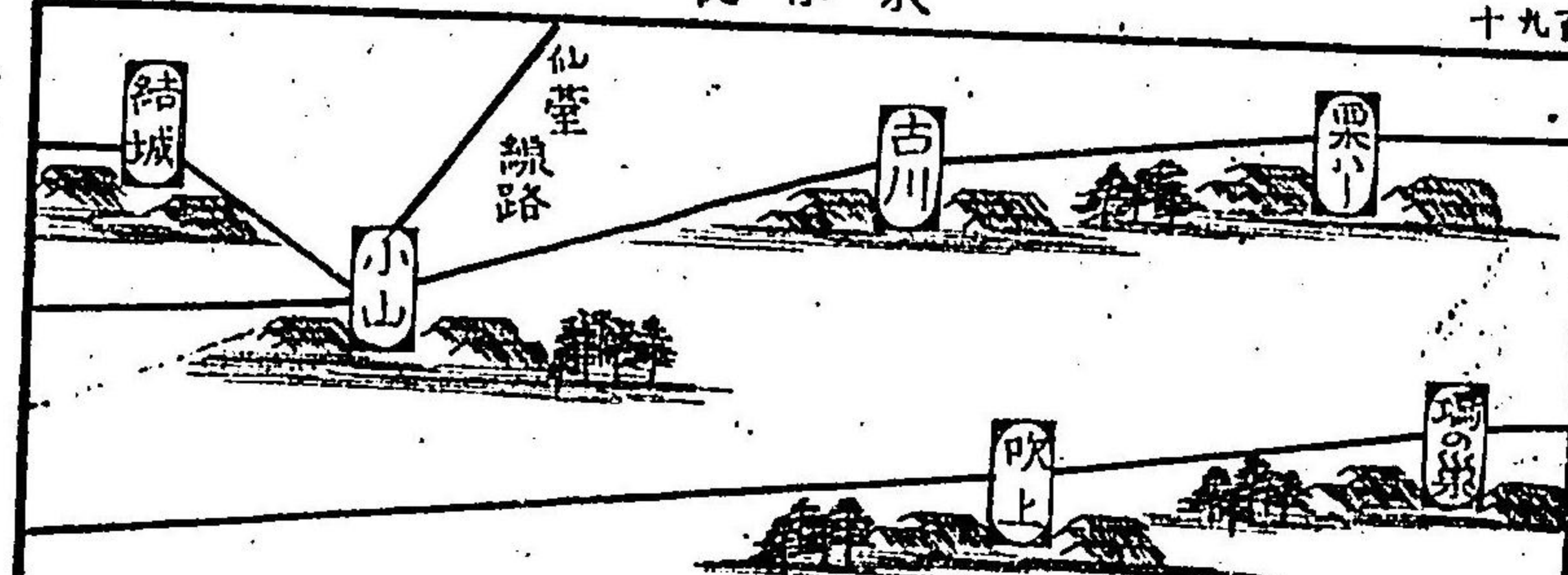


塵と争ふ時小花夕
 小及んでや雲の雲
 小あらず雲の雲
 あらず雲の雲
 色吾れ其の花ふる
 と知る月光水を射
 波光花と浮ぶ月花
 と水と映發す之と
 水晶宮と謂る人の
 將に銀世界のとの
 歎あらしむ又と納
 涼小宜しく赤日炎
 々の候小舟を儼て



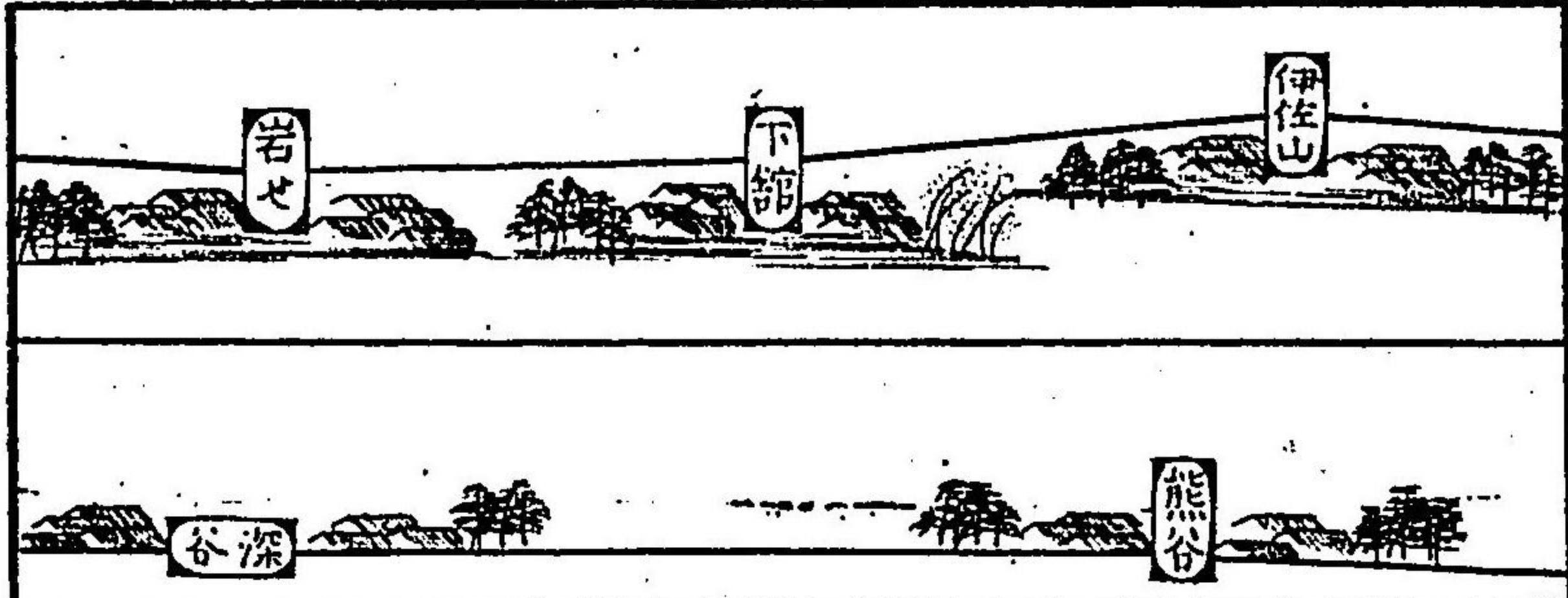
中流小浮へ遠く墨田川と望めば兩岸の燈火照々相ひ連梓一流
 水溶々として天涯小逝う摺紳履士樓船小棹一詩歌と高唱する
 者あり巧み小管絃と奏する者あり各その好む所小従ふ樂も亦
 其の趣と異小す

墨水晚歸二首
 樹影如烟濤不流 王孫萋萋送歸舟 珠簾十里月將墮
 玉笛飛花春一棹
 殘寒剪々送黃昏 夜色朦朧月一痕 燈外何人弄風笛
 落花吹老小梅村
 墨陀觀曉樓
 不愛衣香鬢影生 犯晨來賞滿堤樓 何知羅綺先吾到
 花外風傳笑語聲
 又小春海翁の和歌小
 横山黃木
 上屋耐堂

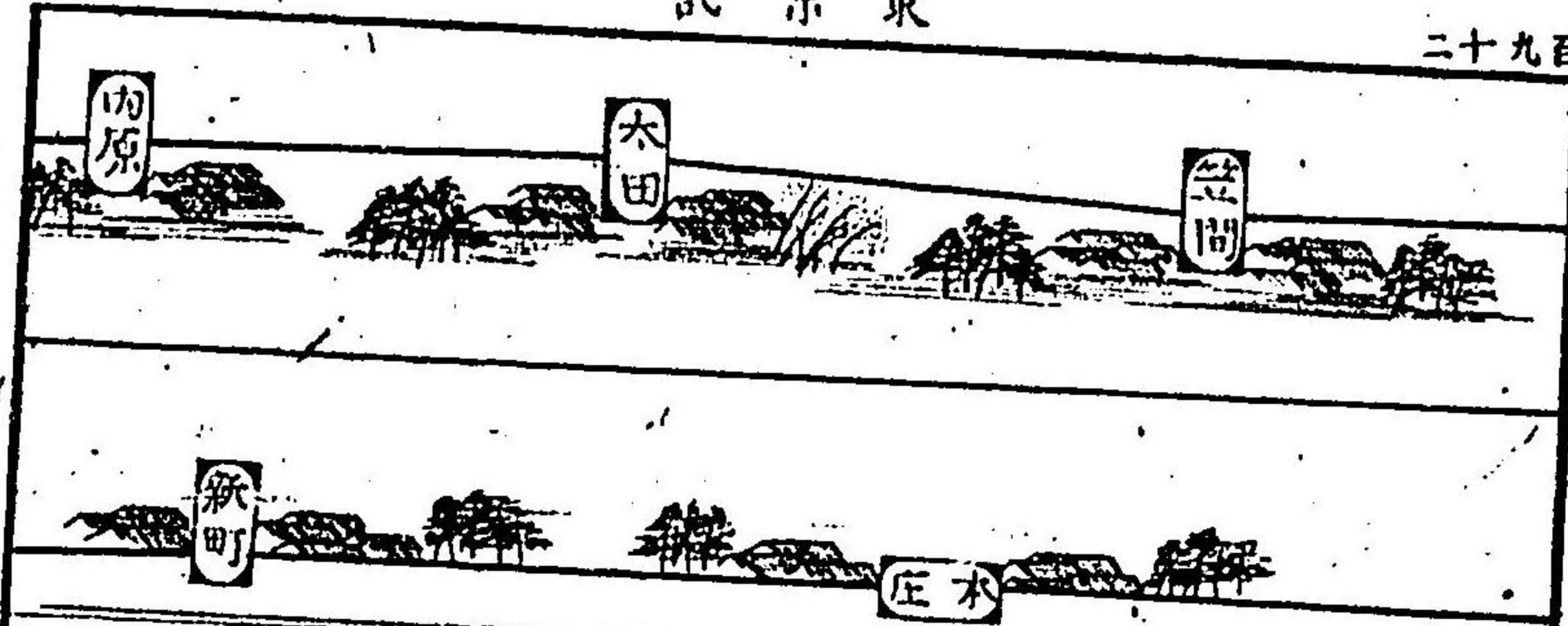


馬田川

つみの花の
からみん
春にみん
人やおらむ
若宮八幡宮の普賢
寺や浄興寺や木下
川の薬師堂妙音寺
の西光寺清重稲荷
等は世の名高
○三塚山増上寺
芝區に在り関東淨
土宗の總本寺十八



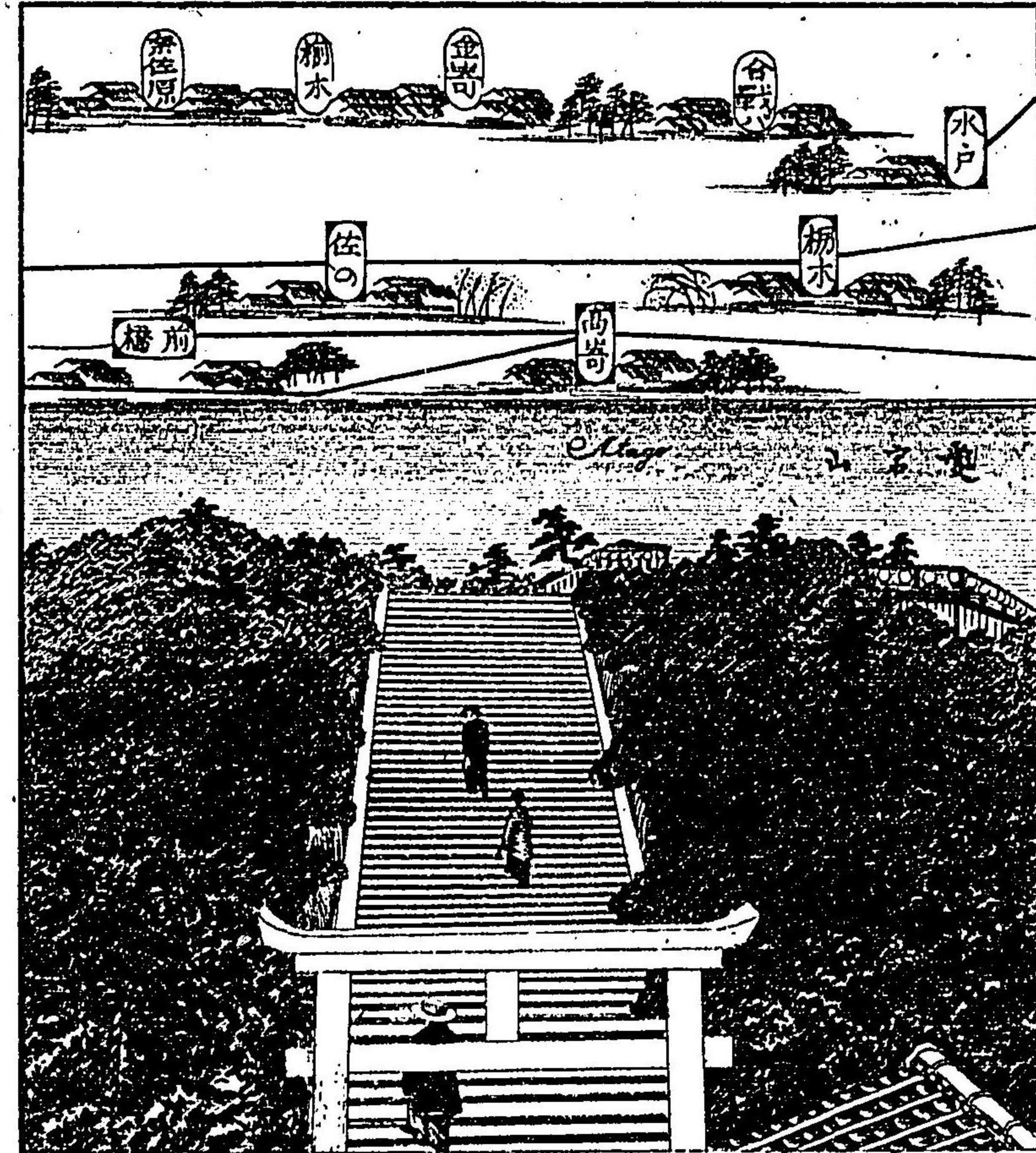
檀林の冠首にして盛大の佛域より徳川氏の廟墓にて金碧爛々
として人目と眩惑を幕府の頃は数百戸の學寮疊々と軒を連ら
ぬ支院三十餘宇ありしが明治十二年火災に罹り本堂學寮も一
朝に灰燼となりふん
○安國殿 徳川氏の廟所その給據上野と同ト近年公園地とな
り圓山の蒼林中に五層の寶塔聳へり此の塔は酒井雅樂頭
建立との山麓に温泉場あり人造の瀑布あり飯倉天満宮や英
春辨天の蓮池あり抑も圓山は土地高燥の酒樽茶亭の設けあり
透望頗る佳あり又三塚山の絶頂に北向觀音あり
○芝濱 漁獵の地にて芝園は中が就て名高く釣艇は金杉の出
づ殊に金杉は海水浴場の設けあり海岸は眺望の富めると以て
府下の貴賤集ひ來る
○紅葉館 一種の俱樂部にして能舞臺の令嬢愛媛は舞袖を飄



へ一妓歌を奏す園中、多数の花弁と混交て風致を増す。且つ芙蓉の白峯と遠望すべし。客室善畫一美畫一紳士紳商の遊興場なり。是より赤羽橋と打渡り芝田町の三田八幡に至り夫より春日社詣りて慶應義塾を一覽し青種場遊へり。是より魚籃觀音閣は程近く目黒不動堂は瀑布の設れありて例月二十八日小販マヘリ

○高輪ヶ原 白金堂や品川堂の二本榎や大井村邊と云ふ上杉朝興の古戦場より大佛や太子堂東禪寺濟海寺天徳寺青松寺は太田道灌の草創して眺望佳あり之の隣りて愛宕神社あり懸崖壁立の石階あり眺望の絶佳なる府下の諸勝地の冠なり

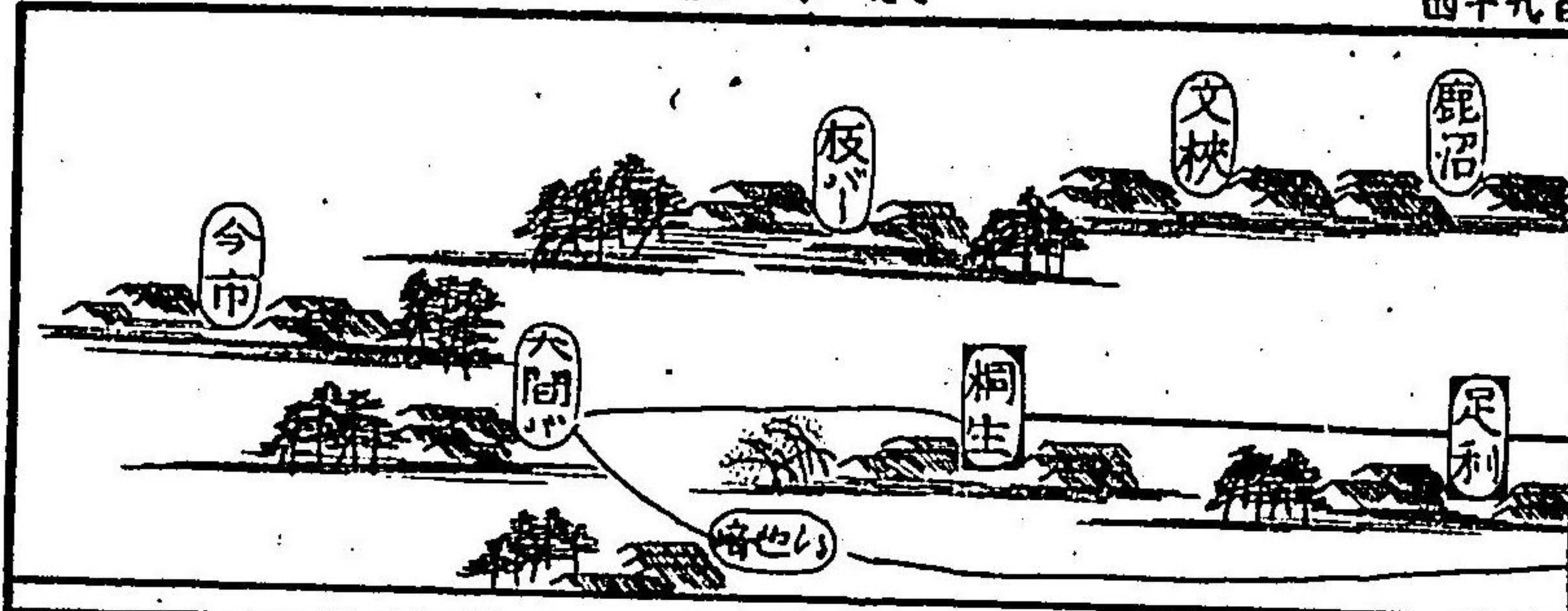
○小金井 玉川の上流して東京を距る西七里四谷門の内藤新宿と經て成子の淀橋と打渡り銅屋町を出で城内の祖師堂詣りて是より直行保谷新田に到れば多少の櫻花と遠望すべし。金



井橋小天津て女の茶を煎し酒を煖めつゝ韻士墨客を迎ふる風情は最も可憐なり春の弥生の花盛なり京師の御室や浪華の櫻詞の賑と中々比較べ難し

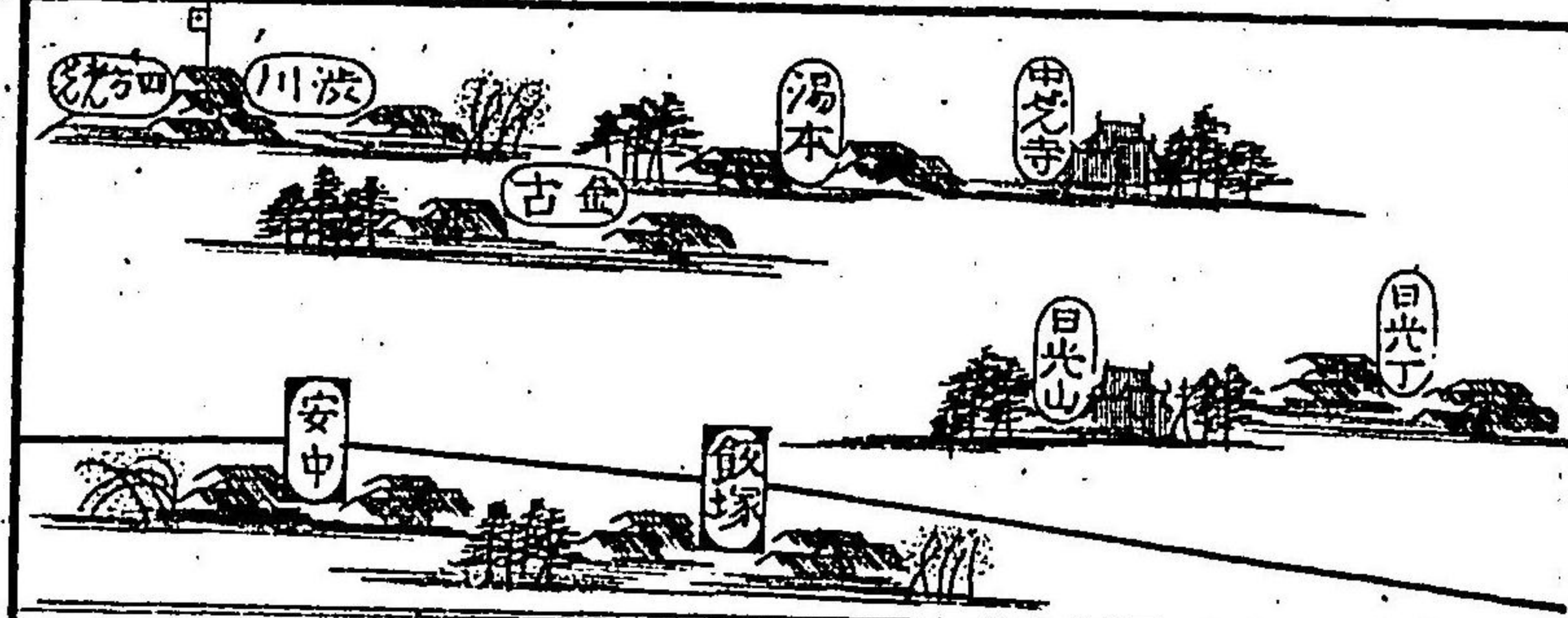
一府下第一觀櫻の勝地と謂ふべけれ亦汽車小乗りて往くと得べし

溜池とて赤坂門外



より山王山の麓を繞る大地が、往昔は蓮花多く勝地あり。近時荒廢す是より板坂や靈雨坂と打越へて氷川神社や信康山龍泉寺や豊川稻荷詣て南命山善光寺の寮一斥候塚に登りて遠山近海を眺望し道玄坂を越へ傳馬町の四谷牛頭天王社に到り鬼子母神の妙典山戒行寺の遊び朝鮮國李彦の妙典山の額の書を一閱し忍原の篠寺の阿岩稻荷に到り津守の瀑布を尋て遊け兼湯の一浴を試み内藤新宿を経て霞關山大宗寺の寮一より

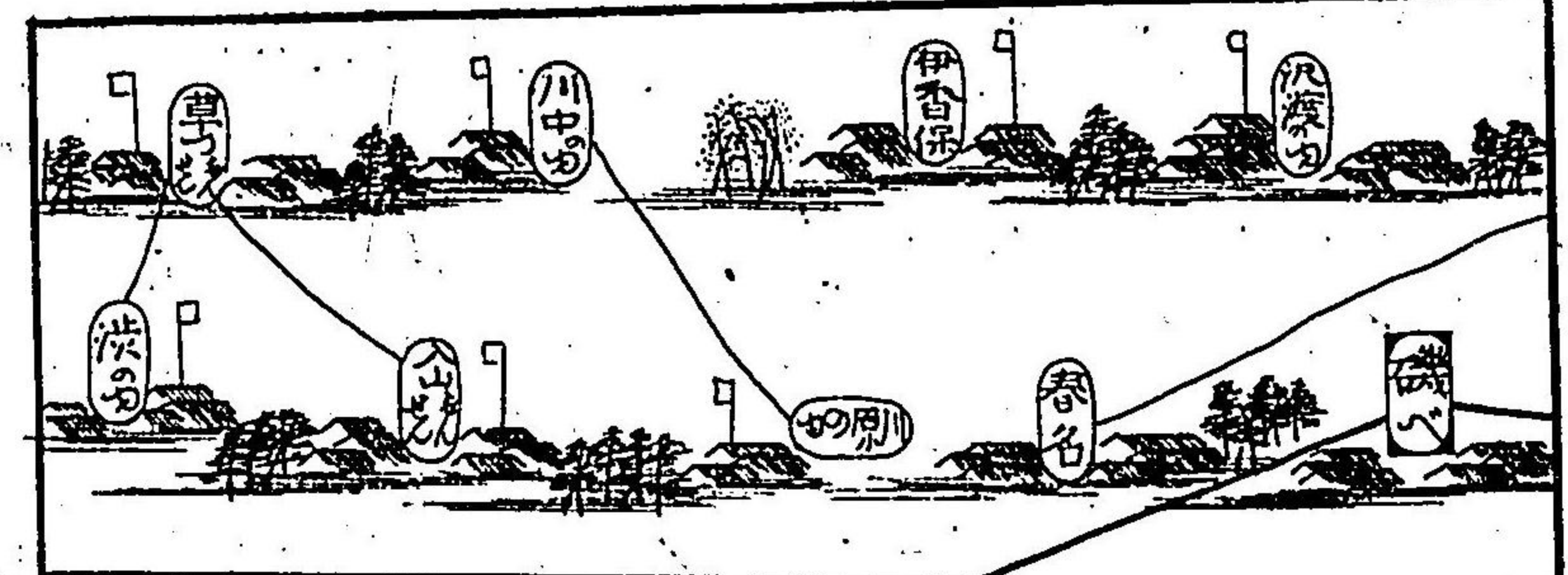
○十二所權現 角笠村に在り林泉佳景あり此の近傍には市谷八幡神社稻荷山樂王寺正覺山月桂寺清光山安養寺津久戸神社津久戸八幡若宮八幡牛頭山行元寺牛頭城趾赤城神社藤原山濟松寺三明山千手院正定山幸國寺三國傳來千手觀音龜鶴山誓願寺等あり高田の穴八幡宮境内に光てふ松あり荒蘭山の遊そんで床の雲雀の音を聞けり御茶水の番を避け駿河臺に往きて



富士山と遙望するの死がら摩上小見よが如し神田川は万治の頃仙臺侯湯島臺と堀割り小石川の水を初めて此に落す

○神田神社 本郷臺の東端に在り大己貴命平將門の靈をまつる石階高く聳へ社頭清浄な茶店多し眺望頗る佳し上野愛宕の景光に並げり

金杉天神の菅公自刻の神像や牛石あり金剛寺の源実朝の碑あり諏訪明神や道祖神大日堂や龍隱菴の杖と曳き駒留橋と通過し目白不動堂は風景佳酒樓多く何れも涯に臨めり是より大塚と通過し波切不動や普門山大慈寺の宝塙泉墓の謁し夫より筑波山護持院や神齡山護國寺に到り傳通院の大黒天本木樂師如來は寮人多し白山神社も程近し小石川の植物園に遊んで學事上参照し益を得り此の園の邊を初音里と唱ふ夫より氷川神社の寮に猫狸橋と通過し巢鴨里に遊んで花壇を一覽す

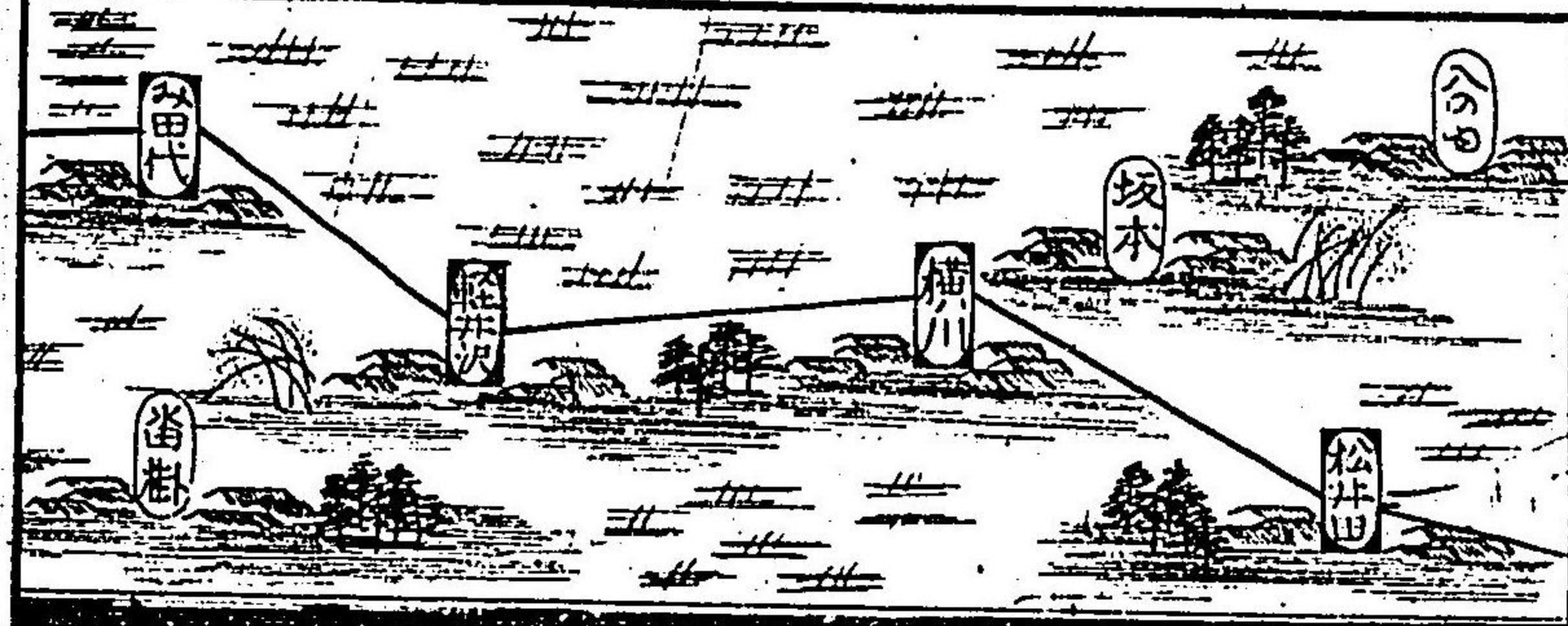


○道灌山 日暮里の統子北は原野漢々とて筑波の山嶺竊然と手小揃る許りあり秋と一云へば虫騒か墨客詞人集ひ来て松籟鈴蟲や蟋蟀の清き音を持嘶し晴渡る月と観て詩を吟酒を呑みて樂むもの頗る多し

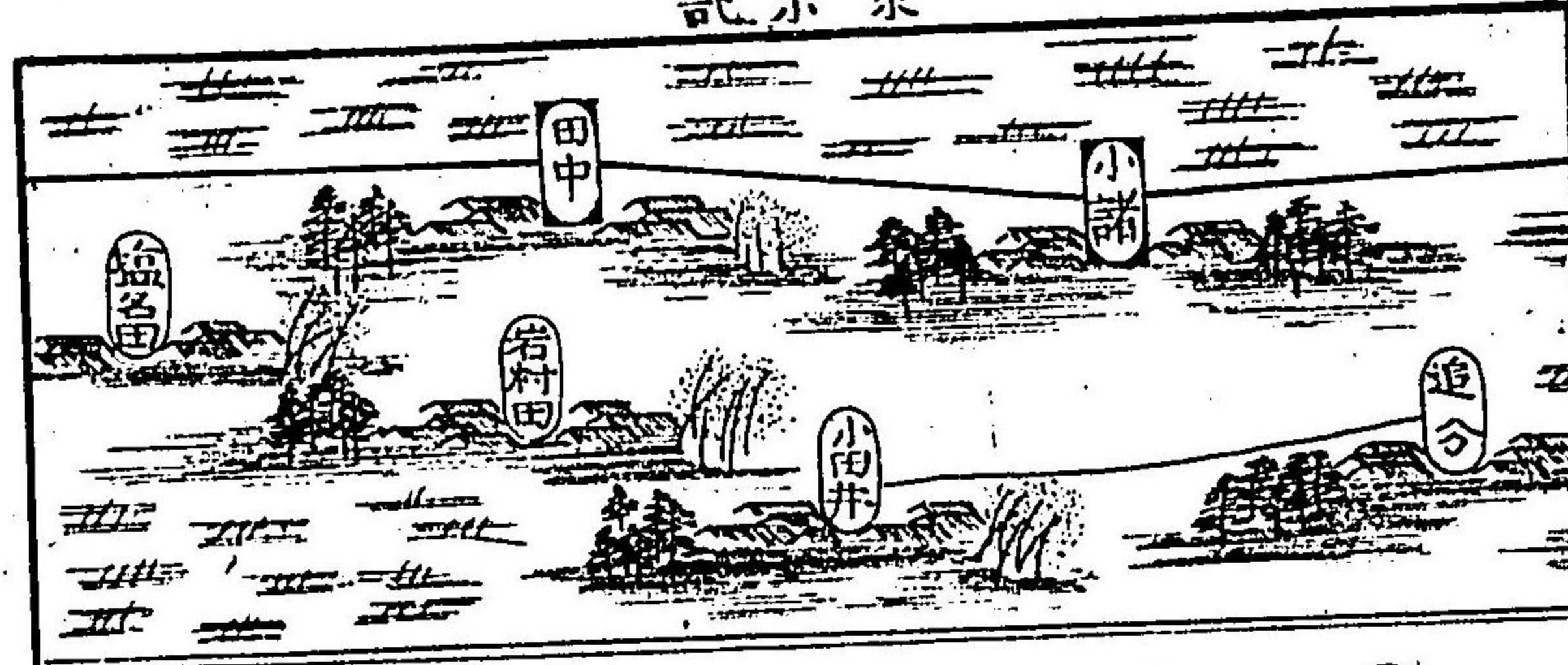
○飛鳥山 王子村の南端芝山にて眺望か富み櫻花の名所あり春の弥生の花盛は詞人の紅袴隊の老少を問まば群れ来て花下小宴を催ふ一雪と見雪と散る花小袂も袖も香を止めける樂翁の夢

飛鳥山あすといひそけふあすは消ぬゆきとやまふも散らむ

○王子権現社 王子稲荷 権現社小伊弉册尊と祀る芦屋釜千鳥屏風等の神寶あり稲荷は著名の神社にて人造の瀑布あり夏月の暑を避くるに適す此辺は岸甚し高のちかきと虽も蒼壁迂曲



楓葉霜の飽きて二月の花よりも紅い小徑松蒼々錯互して錦織の影を湛へ秋晚閑雅の勝地あり持小崖端の一亭は眺望絶佳あり瀧の川とは即ち此處あり製紙會社や紡績場は結構壯麗製造繁盛あり王子村小峠の停車場あり中山道鉄線の要路

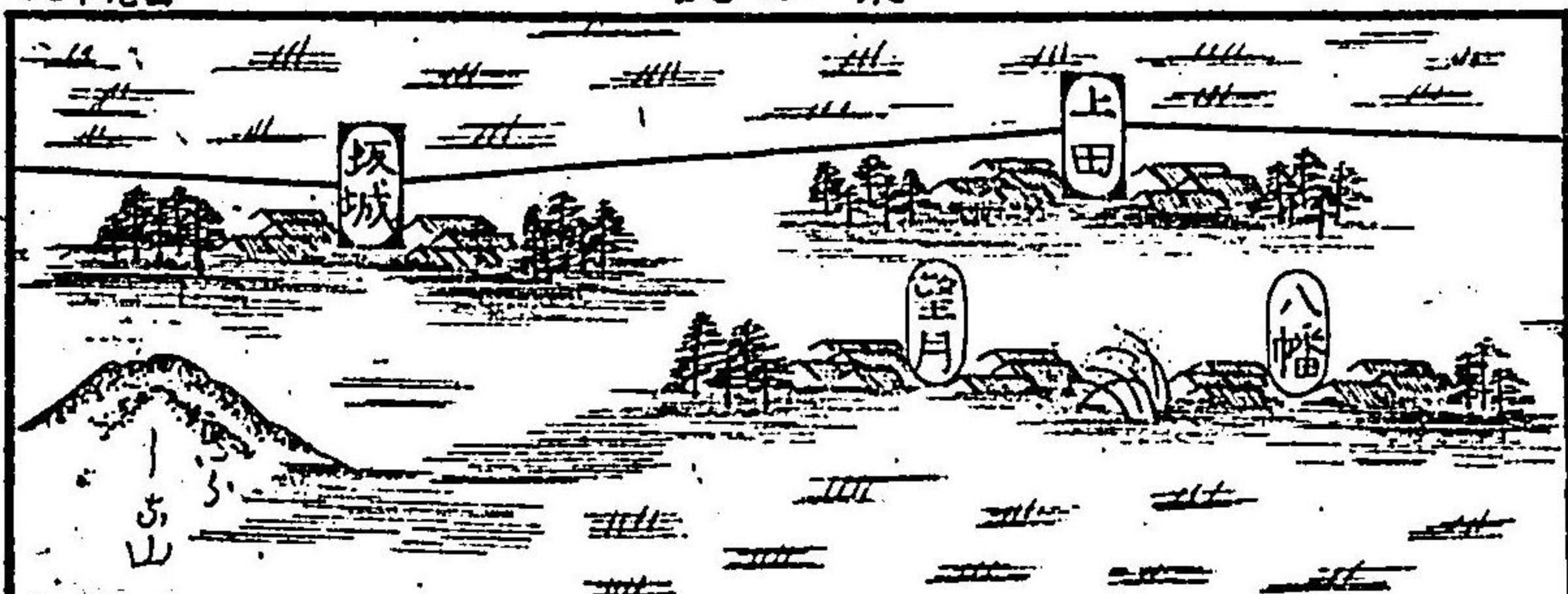


○ 湯島天神 大田道灌の創立眺望小富も是より圓滿寺に至り

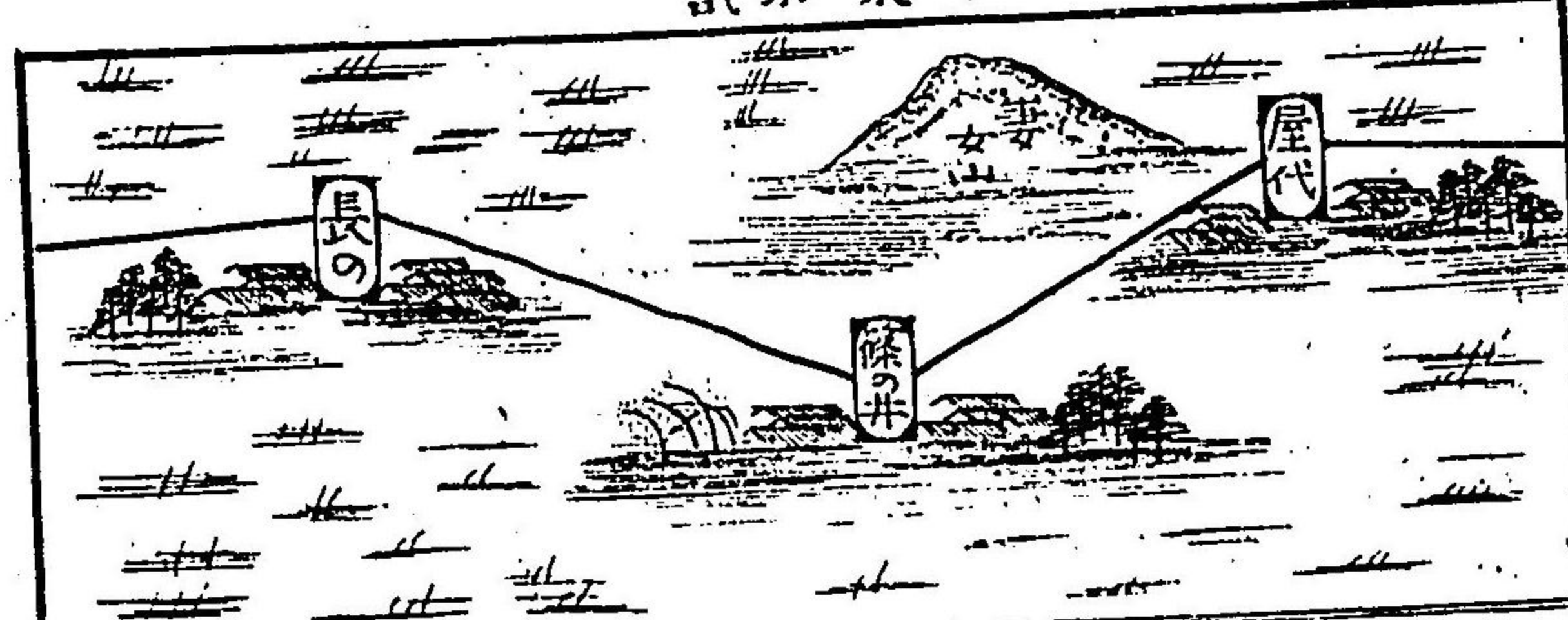
○ 又、関東真言の總本寺なる寶林山靈雲寺が案一なり

○ 根津神社 斎蓋鳴命及び旧幕府の忠臣根津宇右衛門と合祀す境内と曙の里と呼び往昔は四季花卉の絶間あり近來風光と損す大觀音目赤不動淨心寺吉祥寺雜聲壑も接近

○ 東叡山寛永寺 圓頓院と稱し寛永年中比叡山延曆寺を撰て慈眼大師草創す坊舎三十五宇勸学寮二百戸其他講堂經藏等壯嚴善美と盡せしる明治戊辰の兵燹に罹り金殿玉樓も一朝烏有に歸し近世公園とあり教育博物館と書籍館と動物園と設け旧時の面目と一新し一仙洞と開設す山中小標樹多し清水觀音閣の造り彩義隊の碑あり標は清水堂の井の傍あり虎の尾と稱す東照宮が徳川家康を祀る老杉古松鬱蒼と枝を交へ社殿棟

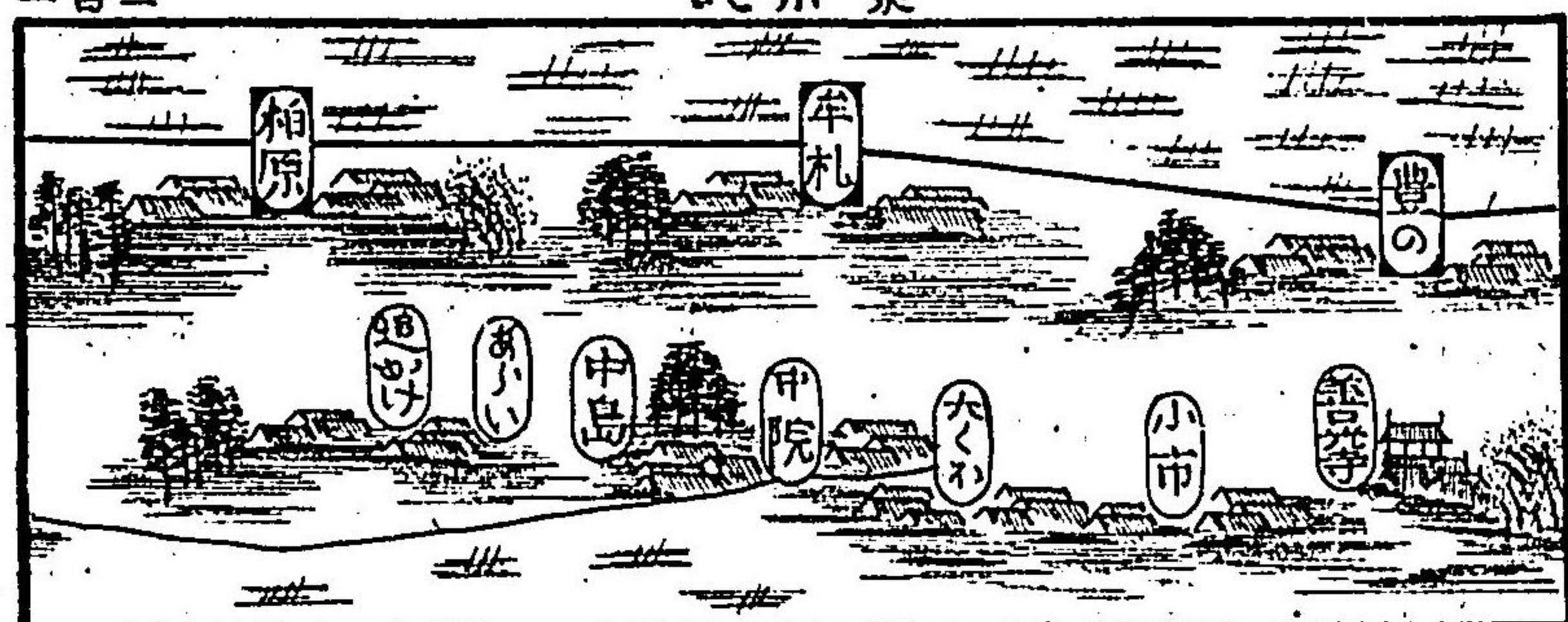


折は朱砂泥金と以て装飾し彫刻緻美と極めり大石燈籠は高さ二丈餘京師南禪寺尾州熱田社是と日本三大石燈籠と云ふ傍に大佛あり高さ二丈一尺餘満山の花は雲耶雲かあらざと疑り此貴賤男女打群れて絡繰とて綺羅



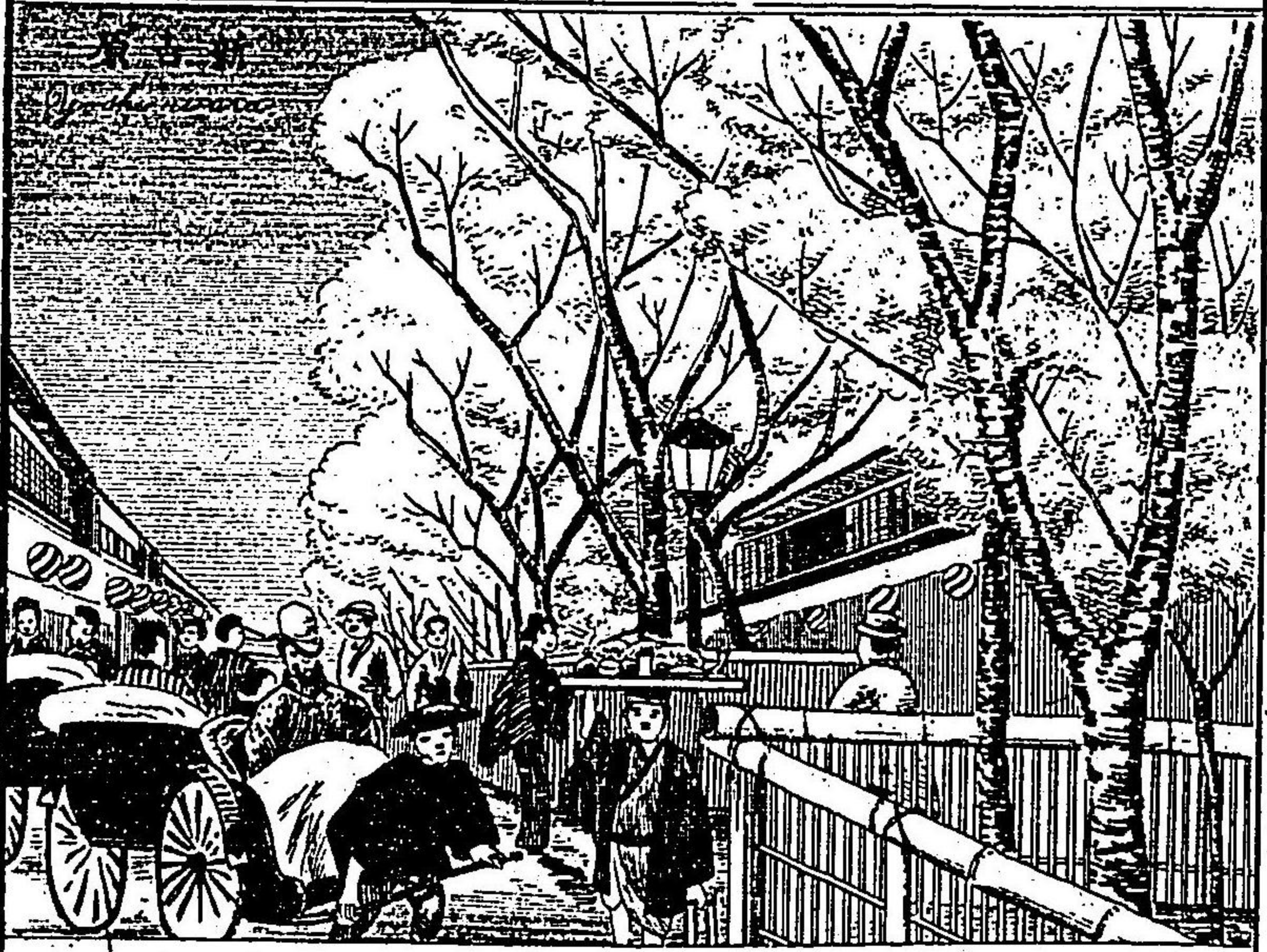
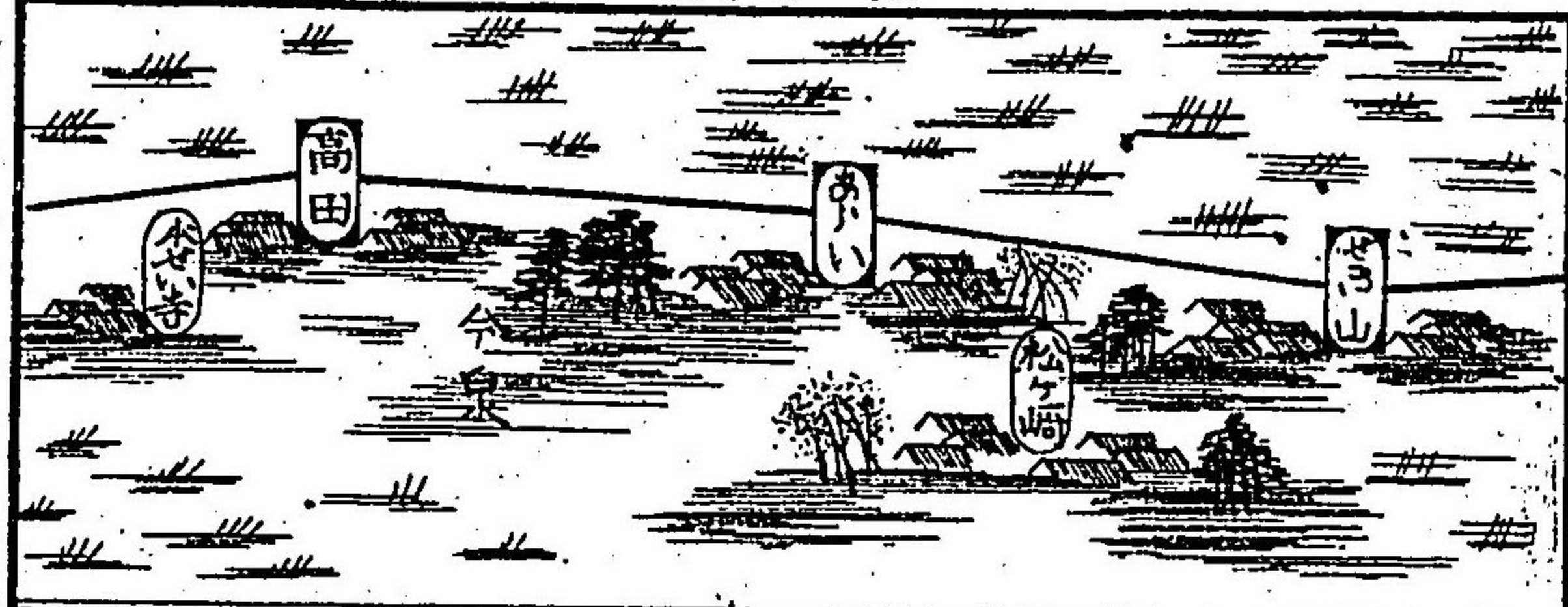
と競ふ花と観る客の人と看る人の正は是れ上野公園の春景なり亦く東叡山の惣名を忍岡と稱す

○不忍池 東叡山麓に在り池の廣さ十有餘町池中蓮多一花候は紅白艶を争ふ近世池塘の揚柳を裁へて風致を添へぬ池中の半島小辨天祠あり酒樓茗肆相櫛比一水光床を透り夏涼秋月の宜一感應寺の遊んで五重の塔の登り根岸の往きて時雨岡の五行松と一覽一永昌寺や下谷稲荷社や幡隨院の五條天神宮小杖と史の常樂院養王院善養寺小野照崎神社根岸日光寺も程近浅草川の白魚茶屋や鰻鮓と漁一浅草橋や駒形堂と通過一三島明神社清水稲荷神社諏訪神社排寺石清水正八幡神社開成堂祇園神社銀杏八幡神社第六天神社を歴て鳥越里の誓一足を休らぬ此外篠塚稲荷神社鳥越神社東光山西福寺化用山常照院淨念寺正保山東漸寺東本願寺高龍山報恩寺田島山誓願寺清水

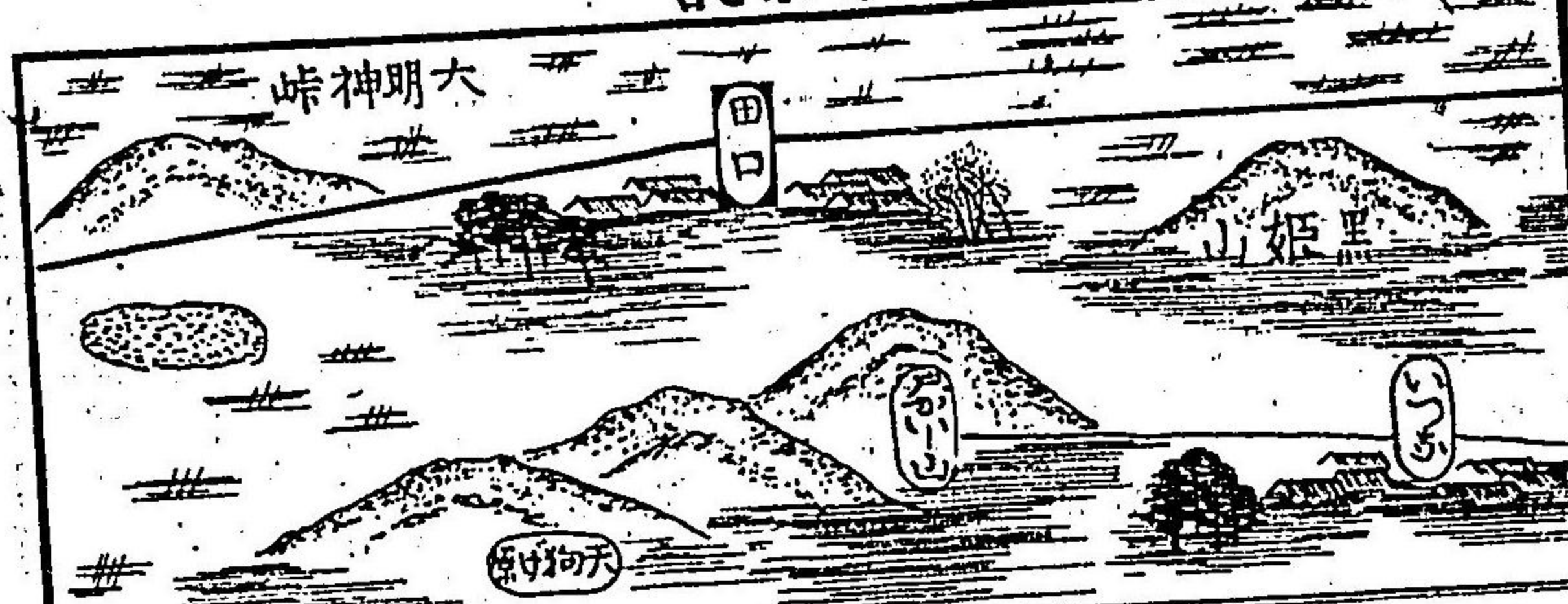


寺觀世音大雄山海禪寺藥王山東光院神田山日輪寺光明山天嶽院一心山稱往院信州善光寺燈明日蓮大菩薩万年山祝言寺厄除太子堂上宮太子堂等あり

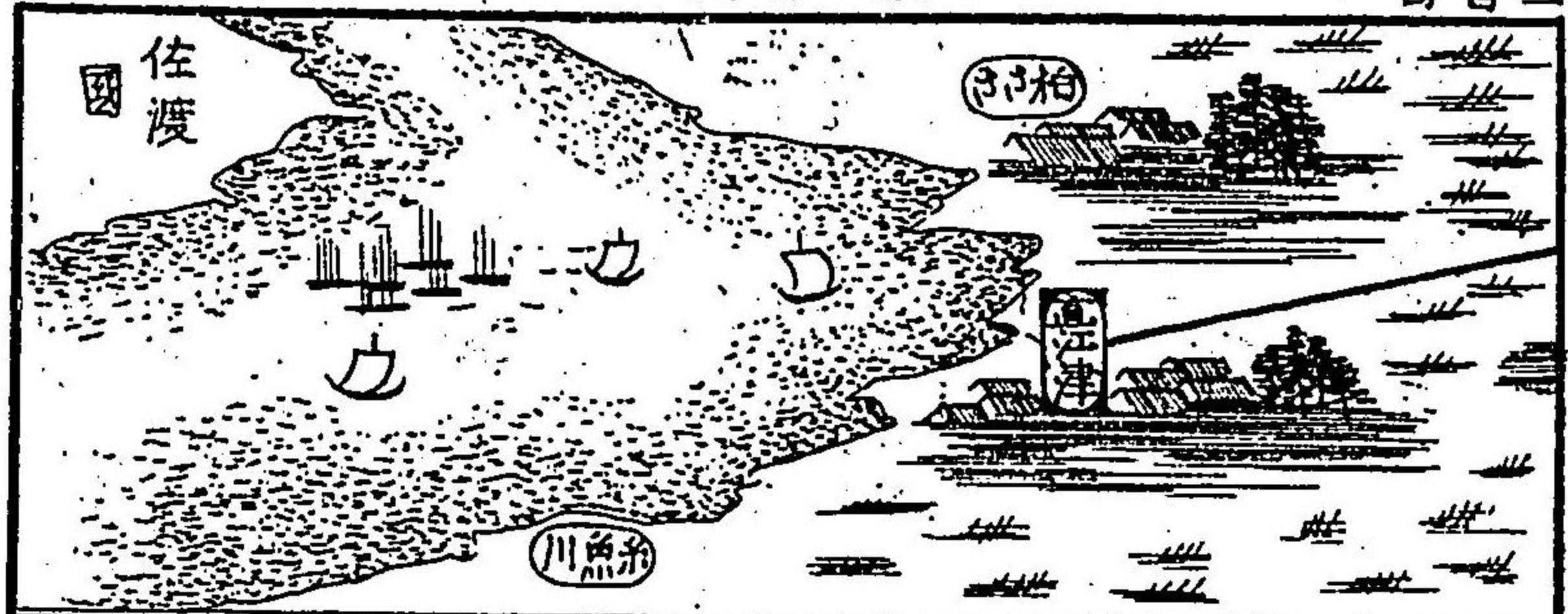
○金龍山浅草寺天台宗寺院の規模宏壯より本尊聖觀世音靜御前の長刀



足町の花街を開く
 元和三年庄司甚右
 衛門葺屋町の二町
 四方の地を開いて
 花街と一吉原と號
 けし、明暦二年か
 至り今の地の轉ト
 新吉原と號けし、
 府下花柳の巨魁お
 り、和太本樓品川樓屋
 彦樓や大文字樓角
 海老持等は中、就
 て冠するものにて



は本堂の後、在り山門樓上の文珠佛と安下樓下の金剛力士の
 像あり、轉輪堂や五層の寶塔は山門の中あり、隨身門は東方の
 豊磐間戸命、攝磐間戸命と祀る、茲に鐘樓あり、三社權現社、熊谷稻
 荷神社、十社權現社、念佛堂、關慶堂、長地藏、護國殿、淡島神社、鏡塚辨
 天祠、手洗池、例幣使松等は本堂の近傍あり、此他諸堂、末社、筆紙
 小尽、難一、堂塔、輪、橋、美と、一、寶帷、靈燈、閃灼として、人目を炫惑
 せしむ、一千二百有餘年と経る古刹ありて、実の日城無雙繁昌の
 靈區あり、金鈴玉翠の響き絶し、時あり、殊に例月十七日は、通夜
 の緇素堂中、か参籠し、参詣の貴賤老少、充滿せり、近世境地の奥山
 小公園地を設けて、生人形、揚弓場、投扇場、観物場、割烹店、や、馬
 真鋪列軒一年は二八の悪く、か、ぬ、嬌婦が容顏いと濃の、か、打拵
 て行人の袖を曳き、精悍接待する風情を受らしむ
 ○新吉原花街 慶長の頃、駿州吉原、駒より遊女と移り、京橋具



構造粧飾美を尽し善を尽せり毎年四月の青樓一様は結幕を破り錦燈煌々と輝き渡り櫻や山吹と繁華一天然の花と解語の花と美を競い常々笑語の聲や絲竹の音絶ゆる時あり

○ 聖天宮祠 今戸聖天町待乳山上に在り筑波山や富士等を遠望し隅田の清流は宛がふ白布と曳くが如し

○ 真間 楓の名所にして真間の演や真間の維橋の絶景あり此の絶して國府蓋として眺望比類なき勝地あり

此外市中は勿論市街近傍の神社佛閣名區勝地数多あり之を畧す

大日本 旅行名所圖繪畢

明治廿三年三月五日印刷
同 廿二年三月八日出版

正價金三十錢

版權 所有 登錄

版權 所有 登錄

著作者 木戸 篤 敬

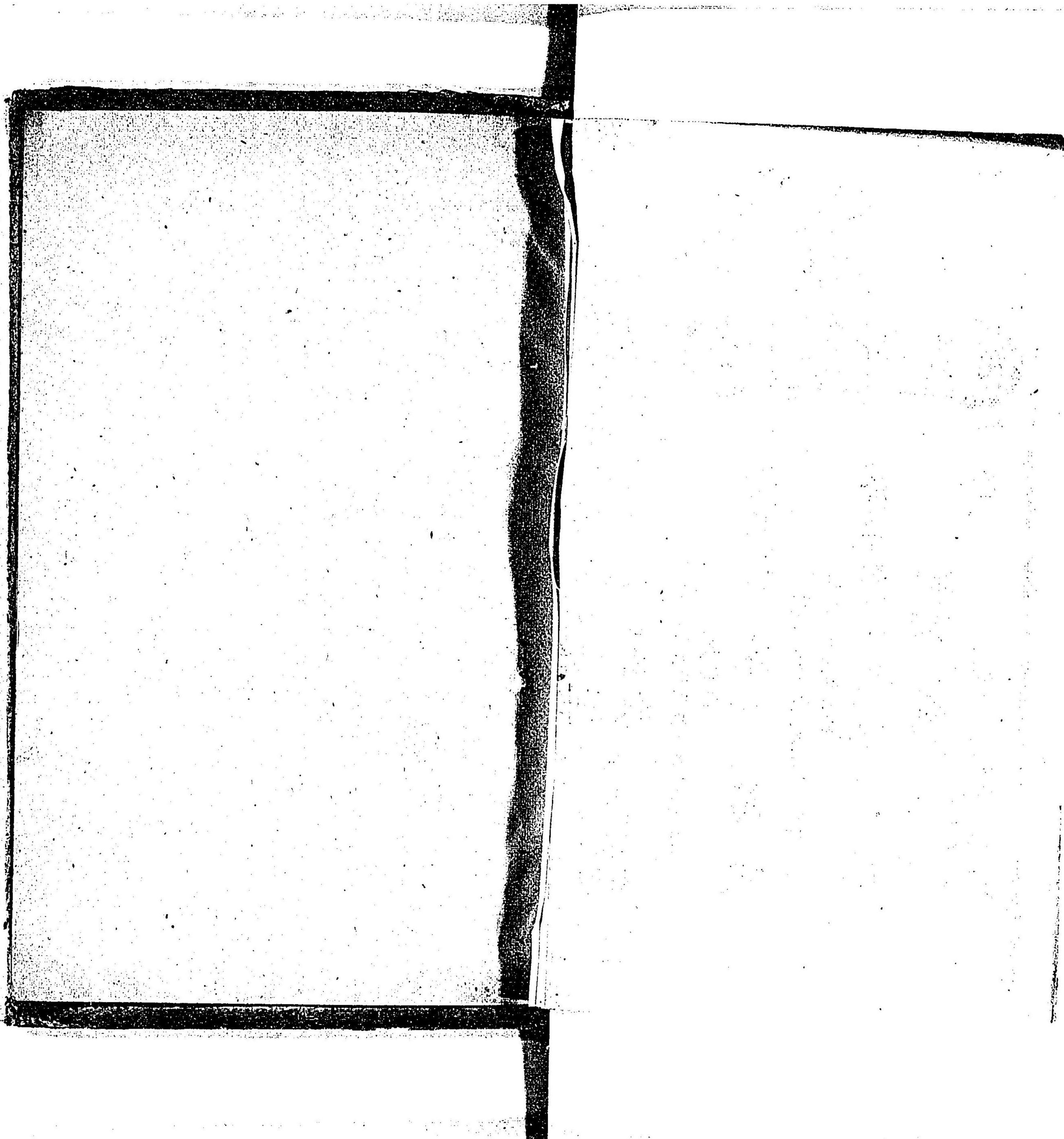
發行兼印刷者 杉本 甚 助

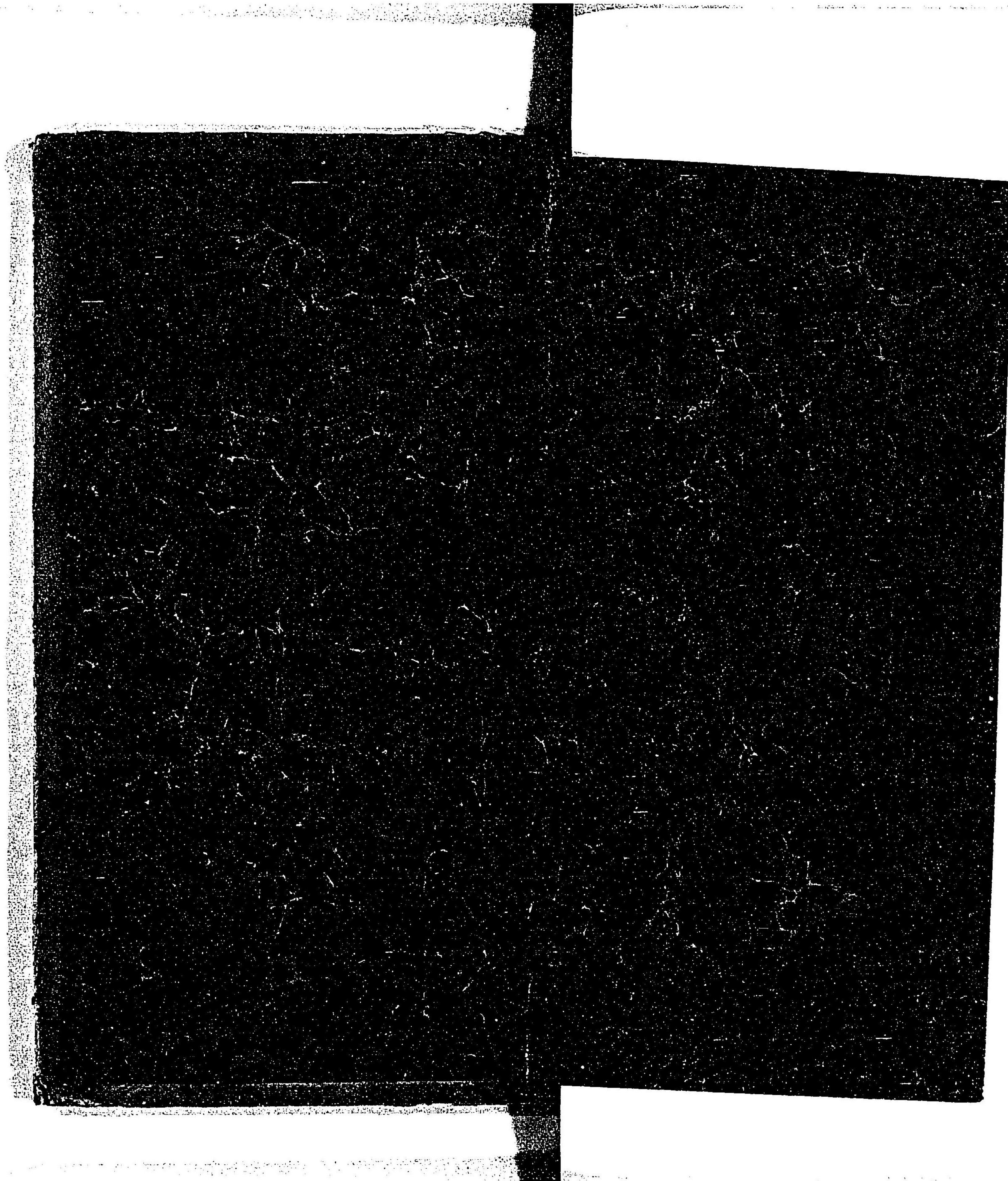
全 京都市下京區三條通御幸町西入
辨慶石町十八番戸
山中 勘 次 郎

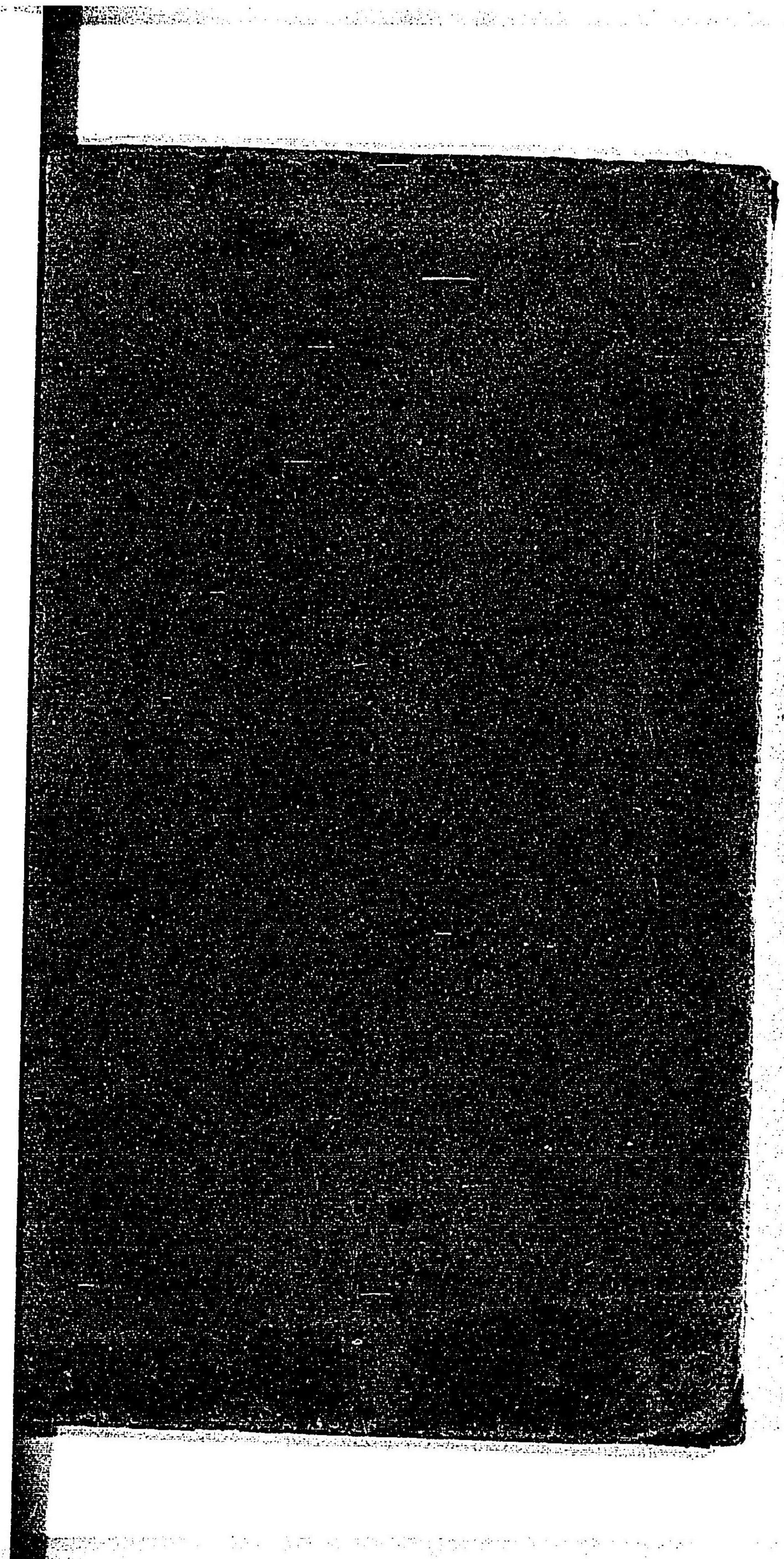
大阪府西成郡川北村大字思貴島
五番屋敷寄留

京都市下京區三條通御幸町西入
辨慶石町廿六番戸

京都市下京區三條通寺町西入
辨慶石町十八番戸







023160-000-8

特61-382

旅行名所図会(大日本汽車)

木戸 篤敬/著

M23

ADB-1206

